



# 消 防 年 報

令和 2 年版



©熊谷市

「スクマム！クマガヤ」消防バージョン

熊 谷 市 消 防 本 部

令和 3 年刊行

## 表紙の写真



©熊谷市

## 「スクマム！クマガヤ」シンボルマーク(消防バージョン)

熊谷のみんなと一緒にスクラムを組んで、まちを盛り上げたいという思いから「スクラム」と「クマガヤ」をかけて「スクマム！クマガヤ」を掲げました。

シンボルマークはチームを大切にするラグビーの精神から常に肩を組んで行動している「クマ」がモチーフ。出会った人とスクラムを組むことが大好きな日本一あついシロクマ「スクとマム」です。鼻の黒いほうが「スク」、白いほうが「マム」です。

このシンボルマーク(消防バージョン)は令和2年8月から使用を開始しています。

## は　じ　め　に

この消防年報は、令和２年中の消防業務及び令和３年４月１日現在の消防現勢について収録し、今後の消防行政の運営に資するとともに、当消防本部の消防現況を広く御理解いただくために編集したものです。

令和３年６月

熊谷市消防本部

# 熊 谷 市

## 市 章



熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右側が「ク」を、上部左側が「マ」を、全体で「谷」を表しています。

大正8年に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年10月1日の合併による新熊谷市においても引き継がれました。

## シンボルマーク



熊谷市（「くま」の2文字）が限りない未来に向かって大きく飛躍している様子をデザイン化しています。

市の花      :   サクラ

市の木      :   ケヤキ

市の鳥      :   ヒバリ

市の魚      :   ムサシトミヨ

# 目 次

一目でわかる消防	1
熊谷市消防本部の沿革	2
◎ 組織・予算	
歴代消防長	1 7
消防組織表	1 8
消防配置図	1 9
消防通信系統図	2 0
消防本部事務分掌	2 1
消防署、分署事務分掌	2 3
現有人員・消防職員年齢状況	2 4
消防職員勤続年数状況・常備消防管内情勢	2 5
消防職員研修状況	2 6
消防吏員特殊技能その他資格取得者数	2 7
消防費予算	2 9
消防音楽隊	3 0
◎ 消防施設・機械	
消防本部、消防署、分署庁舎一覧表	3 1
消防ポンプ自動車等性能一覧表	3 2
主な救助用資器材の保有状況	3 6
通信施設	3 8
1 1 9 番通報受信件数	3 9
◎ 消防水利	
消防水利状況	4 0
署別消防水利状況	4 3
◎ 火災予防	
防火対象物数	4 4
消防同意件数	4 5
危険物の類別製造所等施設数	4 6

危険物の指定数量倍数別製造所等施設数 .....	4 7
防火対象物別消防訓練実施状況 .....	4 8

## ◎ 火災

火災の発生状況 .....	4 9
月別火災発生状況 .....	5 0
署別火災発生状況 .....	5 1
月別、分団別火災発生件数 .....	5 2
月別、時刻別火災発生件数 .....	5 3
損害額及び焼損面積区分による火災発生件数 .....	5 4
出火原因別火災発生件数 .....	5 5
曜日別火災発生件数・時刻別火災発生件数 .....	5 6
火災発生覚知別件数・主なる火災・死者を伴った火災 .....	5 7



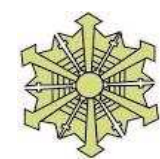








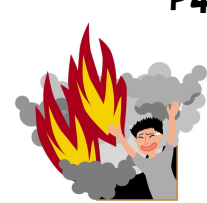

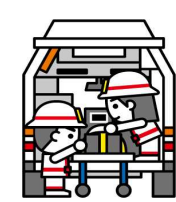


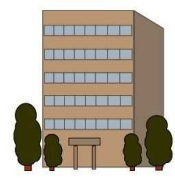


## ◎ 救急・救助

事故種別出動状況 .....	5 8
事故種別署別出動状況 .....	5 9
事故種別時刻別搬送人員 .....	6 0
事故種別傷病程度別搬送人員 .....	6 1
救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況 .....	6 2
事故種別出動件数・程度別搬送人員 .....	6 3
一日平均救急出動件数の年別比較・年齢別搬送人員 .....	6 4
救急隊員の行った応急処置件数 .....	6 5
救急事故覚知別状況・医療資器材の使用件数 .....	6 6
救助出動状況 .....	6 7
月別救助出動件数 .....	6 8
事故種別発生場所別活動件数・事故種別出動車両等台数 .....	6 9

## ◎ 消防団

消防団組織表 .....	7 0
消防団車庫一覧表 .....	7 1
消防ポンプ自動車等性能一覧表 .....	7 3
勤続年数状況・年齢状況 .....	7 5

# 一目でわかる消防

管轄面積	人口 (R3.4.1)	世帯 (R3.4.1)	消防費予算額	消防署所
<b>P18</b>  <b>159.82km<sup>2</sup></b>	<b>P18</b>  <b>194,542人</b>	<b>P18</b>  <b>87,758世帯</b>	<b>P29</b>  <b>2,600,404千円</b> 令和3年度当初予算	<b>P18</b>  消防本部 1 消防署 3 分署 3
消防職員	消防車	救急車	特殊車両	消防水利
<b>P24</b>  定数 247人 実数 248人	<b>P32～35</b>  ポンプ車 11台	<b>P32～35</b>  救急車 7台	<b>P32～35</b>  はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 指揮車 1台 支援車 1台	<b>P40</b>  消防水利 消火栓 3,942基 防火水槽 1,399基 井戸 1,590基 その他 57基
火災	出火原因	火災による死傷者	火災による損害額	救急
<b>P49</b>  火災件数 44件 (内訳) 建物 34件 車両 4件 その他 6件	<b>P55</b>  1位 こんろ 7件 2位 放火 4件 3位 配線器具 3件	<b>P49</b>  死者 1人 負傷者 8人	<b>P49</b>  <b>71,230千円</b>	<b>P58</b>  出動件数 8,901件 搬送人員 7,733人
救助	119番通報受信件数	防火対象物	危険物施設	消防団
<b>P67</b>  出動件数 180件 救助人員 64人	<b>P39</b>  119番固定電話 6,199件 119番携帯電話 5,119件 合計 11,318件	<b>P44</b>  防火対象物数 6,180棟	<b>P46</b>  危険物施設数 591施設 (内訳) 製造所 5施設 貯蔵所 365施設 取扱所 221施設	<b>P70・75</b>  分団数 34団 団員数 472人

## 熊谷市消防本部の沿革

昭和 23 年 3 月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和 30 年 3 月	消防本部庁舎を宮町二丁目 137 番地に竣工
昭和 31 年 3 月	消防長に青木勝之助氏就任 玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和 33 年 5 月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和 36 年 8 月	南分所(現在の荒川分団車庫)を開所
昭和 37 年 5 月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和 42 年 12 月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和 43 年 3 月	消防長に神尾貞治氏就任
昭和 47 年 4 月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の 1 市 1 町 2 村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所 1 本部 1 署 1 分署 2 出張所 車両 普通消防ポンプ自動車 3 台、水槽付消防ポンプ自動車 5 台、屈折はしご車 1 台、救急車 3 台、指令車 1 台、 広報車 1 台、作業車 1 台、救助艇 1 艇 職員 113 名(定員 151 名) 消防長に吉野利男氏就任
昭和 47 年 6 月	職員を 126 名に増員
昭和 47 年 11 月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和 47 年 12 月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知 させるため、無線付指令車を配置
昭和 48 年 1 月	職員を 130 名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同分団に消防車を配置
昭和 48 年 2 月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張所 を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配置、 職員各 15 名 妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新



昭和48年 3月	熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和48年 4月	職員を133名に増員
昭和48年 5月	職員を138名に増員
昭和48年 8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和48年12月	熊谷消防団石原分団車庫竣工
昭和49年 3月	職員を150名に増員 熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新 科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため熊谷消防署に化学車を配置 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年 5月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和49年11月	大型地震防災計画の一環として、熊谷消防署及び各出張所(荒川、玉井、大里、江南)に小型動力ポンプ各1台を配置 熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年12月	高層建築物災害に対処するため、熊谷消防署に35m級はしご付消防車を配置 増加する救急業務の万全を期するため、熊谷消防署に救急車(3B型)を配置 職員定数を166名に改正
昭和50年 2月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和50年 3月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和50年 4月	消防長吉野利男氏 埼玉県消防長会会長に就任
昭和50年 6月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和50年10月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置

昭和 5 0 年 1 1 月	熊谷消防署に救急車(2B 型)を配置(埼玉県農業共済連 寄贈) 妻沼消防団妻沼分団第 1 部車庫竣工
昭和 5 0 年 1 2 月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、 妻沼消防署に無線付指令車を配置
昭和 5 1 年 1 月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和 5 1 年 3 月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化 による各種災害に万全を期するため、熊谷消防署に消防 ポンプ付救助工作車を配置
昭和 5 1 年 7 月	職員を 151 名に増員
昭和 5 1 年 9 月	熊谷消防署に火災問合せ専門着信電話装置(3 回線)を設置
昭和 5 1 年 1 0 月	消防本部に防災無線電話を設置
昭和 5 2 年 2 月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 2 年 3 月	熊谷消防団別府分団車庫竣工 建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化 による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に 訓練塔(3 塔)を設置
昭和 5 2 年 5 月	火災問合せ専門着信電話装置(2 回線)増設
昭和 5 2 年 8 月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用 として熊谷消防署にパトロール車(軽四輪)2 台を配置
昭和 5 2 年 1 2 月	大型地震防災計画の一環として、妻沼消防署に小型動力 ポンプを配置
昭和 5 3 年 2 月	消防本部に広報車(普通車)を配置 妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 3 年 3 月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 3 年 4 月	職員を 153 名に増員
昭和 5 3 年 7 月	熊谷消防団上石分団車庫竣工
昭和 5 4 年 1 月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 4 年 2 月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 4 年 5 月	火災問合せ専用着信電話装置(5 回線)を増設

昭和54年 8月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和54年10月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和54年12月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を配置
昭和55年 1月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和55年 3月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団太井分団車庫竣工 妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新 庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和55年 5月	職員を159名に増員
昭和55年 7月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和55年 8月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和55年10月	熊谷市建築課に新庁舎建設設計業務を委託
昭和56年 1月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置
昭和56年 2月	熊谷消防署の救急車(3B型)を更新
昭和56年 3月	庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設 熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年 3月	熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団奈良分団車庫竣工
昭和57年 4月	職員を164名に増員
昭和57年 5月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任
昭和57年 6月	消防長に門倉恒一氏就任
昭和57年 8月	熊谷地区消防組合庁舎建設着工
昭和57年11月	江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年12月	職員定数を188名に改正
昭和58年 2月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置
昭和58年 3月	熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和 5 8 年	4 月	職員を 172 名に増員
昭和 5 8 年	6 月	熊谷地区消防組合庁舎竣工
昭和 5 8 年	8 月	熊谷地区消防組合新庁舎業務開始 消防本部、消防署の組織改革を行い、本部に総務課 2 係、 予防課 2 係、警防課 3 係を置き、旧本部庁舎を熊谷消防署 中央分署として開署
昭和 5 8 年	9 月	通信指令室に消防救急指令装置 B 型を配置 119 番回線 容量 48 回線、実装 8 回線 指令回線 容量 48 回線、実装 6 回線 無線設備 基地局 4 市町村波 150. 31MHZ 県内波 148. 29MHZ 全国波 150. 73MHZ 救急(復信)波 147. 50MHZ 143. 50MHZ 総合表示盤 ワンタッチ回路 100 か所 電子式交換機 局線容量 24 回線、実装 7 回線 内線容量 96 回線、実装 43 回線 通信指令室に地図検索装置を配置 熊谷消防署及び大里出張所に救助用ボートを配置
昭和 5 8 年	1 1 月	妻沼消防団長井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 9 年	2 月	熊谷消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和 5 9 年	3 月	熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(5, 000ℓ)を配置 熊谷消防団中条分団車庫及び佐谷田分団車庫竣工
昭和 5 9 年	4 月	職員を 177 名に増員
昭和 5 9 年	6 月	江南出張所に救助用ボートを配置
昭和 5 9 年	7 月	荒川出張所に折たたみ式アルミボート(船外機付)を配置 熊谷消防署の査察車(軽四輪)2 台を更新
昭和 5 9 年	1 0 月	熊谷消防署に広報装置付四輪駆動車を配置(ホテルサンルート 熊谷 寄贈) 熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置 江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署にボートトレーラを配置

昭和60年 3月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の救急車(2B型)を更新 妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和60年 4月	消防長に中村和夫氏就任
昭和60年 5月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋 寄贈)
昭和60年 7月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を配置
昭和60年11月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和60年12月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県支部 無償譲渡)
昭和61年 3月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新 熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ自動車を更新 江南消防団北分団車庫竣工
昭和61年 7月	職員を178名に増員
昭和61年 8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和61年10月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和62年 4月	職員を179名に増員
昭和62年 8月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を更新
昭和62年10月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和63年 3月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を配置(江南救急車シャシー日本損害保険協会 寄贈)
昭和63年 4月	機構改革により中央分署を中央消防署に、各出張所(荒川、玉井、江南、大里)を分署に改変 消防長に多田浩氏就任
昭和63年 8月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新

昭和 63 年 10 月	熊谷消防団奈良、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 1 月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 2 月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 3 月	妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成 元年 4 月	熊谷地区消防組合章を制定
平成 元年 7 月	消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各 1 台を更新
平成 元年 8 月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成 元年 10 月	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 2 月	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成 2 年 3 月	熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 6 月	中央消防署の指令車を更新
平成 2 年 8 月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成 2 年 10 月	妻沼消防団妻沼分団第 2 部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 11 月	妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成 3 年 2 月	妻沼消防署庁舎竣工
平成 3 年 3 月	妻沼消防団妻沼分団第 2 部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第 2 部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成 3 年 4 月	熊谷消防署玉井分署に救急車(2B 型)を配置 職員を 186 名に増員 職員定数を 214 名に改正
平成 4 年 2 月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成 4 年 3 月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 4 年 4 月	職員を 196 名に増員
平成 4 年 10 月	熊谷消防署のスノーケル車を 35m のはしご付消防車に更新し、熊谷消防署玉井分署に配置

平成	4 年	1 2 月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	5 年	1 月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5 年	4 月	職員を 203 名に増員
平成	5 年	8 月	妻沼消防署の指令車を更新
平成	5 年	9 月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5 年	1 1 月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成	6 年	1 月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
			熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成	6 年	2 月	熊谷消防署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新 (三国コカ・コーラボトリング株式会社 寄贈)
平成	6 年	4 月	消防長に橋本澄男氏就任 職員を 212 名に増員 職員定数を 247 名に改正
平成	6 年	8 月	熊谷消防署の指令車を更新
平成	6 年	9 月	熊谷消防署に赤バイ 2 台を配置(江田組株式会社 寄贈)
平成	6 年	1 0 月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成	6 年	1 1 月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ 自動車に更新
平成	6 年	1 2 月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ 自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	7 年	1 月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車 を更新 大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を 更新
平成	7 年	4 月	職員を 222 名に増員
平成	7 年	6 月	消防本部の査察車(軽四輪)3 台、熊谷消防署の広報車及び 妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成	7 年	7 月	消防本部の装備車を更新
平成	7 年	1 1 月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	8 年	2 月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車 (2B 型)を更新

平成 8 年 3 月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 大里消防団 竿頭綬を受章
平成 8 年 4 月	消防長に堀越満氏就任 本部に通信指令課を設置 職員を 233 名に増員
平成 8 年 9 月	熊谷消防署の広報車 1 台、熊谷消防署江南分署及び中央 消防署大里分署の査察車各 1 台を更新
平成 8 年 10 月	消防職員委員会を設置 アポロキャップ型略帽を採用
平成 9 年 1 月	熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 9 年 2 月	熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ 自動車を更新 熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車 (2B 型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置
平成 9 年 3 月	大里消防団北分団車庫竣工 通信指令課に消防緊急通信指令施設Ⅱ型を配置 119 番回線 容量 50 回線、実装 21 回線 指令回線 容量 40 回線、実装 7 回線 無線設備 基地局 1 局(12 装置) 市町村波 150.31MHZ 県内波 148.29MHZ 全国波① 150.73MHZ 〃 ② 148.75MHZ 〃 ③ 154.15MHZ 救急(復信)波 147.50MHZ 143.50MHZ デジタル交換機 局線容量 16 回線、実装 9 回線 内線容量 72 回線、実装 68 回線
平成 9 年 4 月	職員を 244 名に増員
平成 10 年 2 月	妻沼消防団妻沼分団第 1 部車庫竣工 熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新



平成 10 年	3 月	妻沼消防署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新
平成 10 年	4 月	携帯電話からの 119 番通報受信転送システム開始
平成 10 年	9 月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各 1 台を更新
平成 11 年	1 月	熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年	2 月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年	3 月	江南消防団 竿頭綬を受章
平成 11 年	4 月	消防長に山川幸男氏就任
平成 11 年	8 月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成 11 年	10 月	消防本部に 8 人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏 寄贈)
平成 12 年	2 月	熊谷消防署玉井分署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成 12 年	5 月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 12 年	8 月	消防本部の査察車を更新
平成 12 年	10 月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新 中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成 13 年	4 月	職員を 245 名に増員
平成 13 年	6 月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第 1 部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 13 年	10 月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成 13 年	11 月	中央消防署指令車を更新
平成 14 年	4 月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成 14 年	8 月	熊谷地区消防組管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成 14 年	10 月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成 15 年	1 月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 15 年	2 月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第 1 部の普通消防ポンプ自動車を更新

平成15年 4月	消防長に福島正美氏就任
平成15年 7月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成15年10月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年11月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成16年10月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成17年 3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年 4月	消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防署に指揮隊を設置
平成17年 9月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年10月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合) により新熊谷市誕生 熊谷消防署の救助工作車を更新
平成18年10月	警防課に指揮隊車を配置
平成18年11月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成19年 2月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区 消防組合が解散 熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、 熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、 中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置 職員定数 247 名 消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置 団員定数 513 名
平成20年 1月	中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新 熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団 の普通消防ポンプ自動車を更新
平成20年 2月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成20年 3月	予防課、警防課の査察車を更新

平成 20 年 4 月	消防長に松葉一三氏就任 職員を 246 名に増員 団員定数を 528 名に改正 女性消防団員を 17 名採用
平成 20 年 9 月	水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置
平成 20 年 10 月	中央消防署の救急自動車(2B 型)を高規格救急自動車に更新 熊谷市消防団団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置
平成 20 年 12 月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 21 年 1 月	熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新 第 1 回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成 21 年 3 月	消防本部の指令車を更新 警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新 熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新 指令課に高機能消防指令センターを更新整備 主な装置 ・ メール 119 番、FAX119 番、駆け込み 119 番受付装置 ・ 発信地表示システム      ・ 災害情報表示装置 ・ 消防情報支援システム      ・ 車両動態位置管理装置 ・ 自動出動指定装置      ・ E メール災害情報配信システム ・ EPV システム
平成 21 年 10 月	中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 21 年 12 月	中央消防署の高規格救急自動車を更新 中央消防署新庁舎の基本設計を実施
平成 22 年 1 月	中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施
平成 22 年 2 月	熊谷市消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新 熊谷市消防団大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 消防総務課に研修車(天然ガス車)を配置 第 2 回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成 22 年 3 月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備

平成 22 年 4 月	消防長に新井義一氏就任 職員を 247 名に増員
平成 23 年 2 月	第 3 回消防音楽隊定期演奏会を開催 熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成 23 年 3 月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式 はしご車（30m）に更新 中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防 ポンプ自動車を更新 熊谷消防署に支援車を配置（総務省消防庁 貸与） 東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成 23 年 4 月	消防長に須賀忠氏就任
平成 23 年 10 月	行田市と消防本部指令センターで消防通信指令事務の共同 運用を開始
平成 23 年 12 月	熊谷市消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 24 年 2 月	熊谷消防署の指令車を更新 第 4 回消防音楽隊定期演奏会（音楽隊発足 10 周年記念）を 開催 熊谷消防署玉井分署の救助工作車を更新
平成 24 年 3 月	熊谷市消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ 自動車を更新
平成 24 年 11 月	消防本部に救急指導車を配置（故野坂礼子氏 寄贈）
平成 25 年 1 月	熊谷市消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 25 年 2 月	第 5 回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成 25 年 3 月	中央消防署開署
平成 25 年 4 月	中央消防署荒川分署を廃止し中央消防署に統合 熊谷消防署玉井分署に中央消防署の水槽付消防ポンプ 自動車を配置替 中央消防署に熊谷消防署玉井分署の救助工作車を配置替
平成 25 年 12 月	熊谷消防署玉井分署の化学車を更新 熊谷市消防団中央分団及び江南中央分団の普通消防ポンプ 自動車を更新

平成 26 年 2 月	第 6 回消防音楽隊定期演奏会を開催 妻沼消防署の指令車を更新
平成 26 年 3 月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車を更新
平成 26 年 4 月	消防長に木村和行氏就任
平成 26 年 12 月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成 27 年 1 月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 27 年 2 月	第 7 回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成 27 年 3 月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署の査察車を更新 指令センターに消防救急デジタル無線を整備 主な装置 ・ 空中線柱                      ・ 空中線共用器 ・ 受令機                        ・ 基地局無線設備 ・ 車載無線機                ・ 携帯無線機 ・ 可搬型無線装置
平成 27 年 4 月	警防課から熊谷消防署に指揮係を配置替
平成 27 年 9 月	関東・東北豪雨に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成 27 年 10 月	予防課の査察車を更新（熊谷市防火安全協会 寄贈）
平成 27 年 11 月	中央消防署大里分署及び妻沼消防署の高規格救急自動車を更新
平成 27 年 12 月	熊谷消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 消防音楽隊の制服を更新 熊谷市消防団に消防デジタル無線受令機及びデジタル式 トランシーバーを整備
平成 28 年 2 月	第 8 回消防音楽隊定期演奏会（熊谷市誕生 10 周年記念）を 開催
平成 29 年 2 月	第 9 回消防音楽隊定期演奏会を開催 熊谷消防署江南分署及び中央消防署の高規格救急車を更新
平成 29 年 3 月	熊谷消防署の査察車を更新 中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 29 年 4 月	消防長に宮本貢朗氏就任 再任用（短時間）職員の採用を開始 熊谷市消防団後方支援隊発足
平成 29 年 8 月	消防総務課の査察車を更新

平成30年	2月	熊谷市消防団荒川分団車庫竣工 中央消防署の高規格救急車を更新 第10回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成30年	3月	熊谷消防署江南分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成31年	1月	中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成31年	2月	熊谷消防署の高規格救急車を更新 第11回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成31年	3月	高機能消防指令センターを更新整備 Net119緊急通報システム運用開始
平成31年	4月	消防長に倉本豊氏就任 熊谷消防署の救助工作車と中央消防署の救助工作車を配置替
令和元年	7月	高度救助隊発足
令和元年	11月	消防総務課の研修車（天然ガス車）を廃車
令和2年	1月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
令和2年	2月	第12回消防音楽隊定期演奏会を開催
令和2年	3月	熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を警防課へ配置替 熊谷市消防団団本部女性小隊の広報車を更新 熊谷市消防団荒川分団、長井分団及び江南北分団の普通ポンプ自動車を更新 警防課の連絡車を消防総務課へ配置替
令和2年	4月	消防長に橋本政佳氏就任 熊谷市会計年度任用職員の採用を開始
令和2年	10月	熊谷市消防団上石分団、妻沼分団及び太田分団の普通ポンプ自動車を更新
令和2年	11月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
令和2年	12月	中央消防署のはしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車（25m級）に更新し、玉井分署のはしご付き消防自動車と配置替 正午のサイレン吹鳴終了
令和3年	3月	熊谷消防署、玉井分署及び妻沼消防署の仮眠室個室化整備
令和3年	4月	消防長に渋澤健司氏就任

---

# 組 織 ・ 予 算

---



妻沼中央公民館において  
はしご車救助救出訓練

## 歴 代 消 防 長

氏 名	在 任 期 間	備 考
鴨 田 宗 一	昭和 23 年 3 月 ～ 昭和 31 年 3 月	市消防本部
青 木 勝之助	昭和 31 年 3 月 ～ 昭和 43 年 3 月	〃
神 尾 貞 治	昭和 43 年 3 月 ～ 昭和 47 年 3 月	〃
吉 野 利 男	昭和 47 年 4 月 ～ 昭和 57 年 4 月	組合消防本部
門 倉 恒 一	昭和 57 年 6 月 ～ 昭和 60 年 3 月	〃
中 村 和 夫	昭和 60 年 4 月 ～ 昭和 63 年 3 月	〃
多 田 浩	昭和 63 年 4 月 ～ 平成 6 年 3 月	〃
橋 本 澄 男	平成 6 年 4 月 ～ 平成 8 年 3 月	〃
堀 越 満	平成 8 年 4 月 ～ 平成 11 年 3 月	〃
山 川 幸 男	平成 11 年 4 月 ～ 平成 15 年 3 月	〃
福 島 正 美	平成 15 年 4 月 ～ 平成 17 年 3 月	〃
中 島 裕 一	平成 17 年 4 月 ～ 平成 19 年 2 月	〃
中 島 裕 一	平成 19 年 2 月 ～ 平成 20 年 3 月	市消防本部
松 葉 一 三	平成 20 年 4 月 ～ 平成 22 年 3 月	〃
新 井 義 一	平成 22 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	〃
須 賀 忠	平成 23 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	〃
木 村 和 行	平成 26 年 4 月 ～ 平成 29 年 3 月	〃
宮 本 貢 朗	平成 29 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月	〃
倉 本 豊	平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	〃
橋 本 政 佳	令和 2 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月	〃
渋 澤 健 司	令和 3 年 4 月 ～	〃



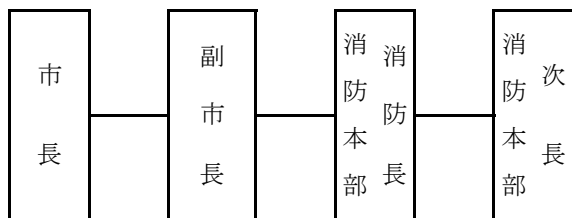
# 消 防 組 織 表

面 積 1 5 9 . 8 2 km<sup>2</sup>

世 帶 8 7 , 7 5 8 世帶

人 口 1 9 4 , 5 4 2 人

(令和3年4月1日現在)

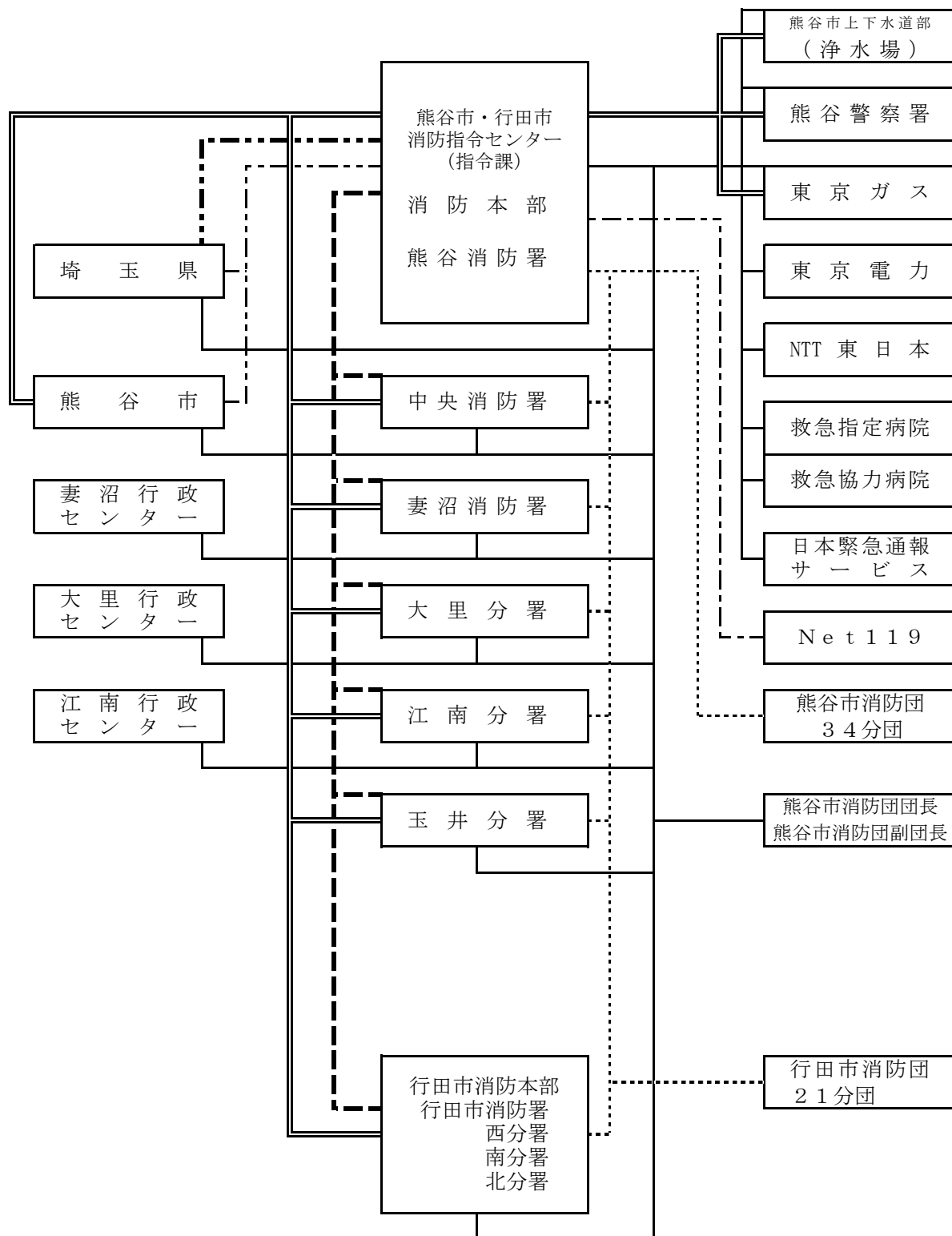
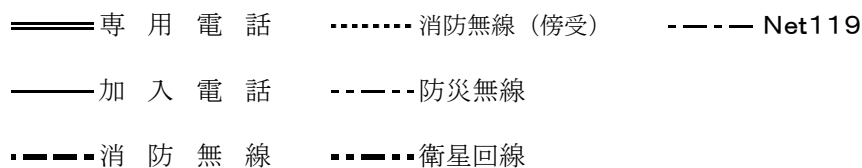


	消 防 總 務 課		總 務 係
			職 員 係
	予 防 課		予 防 係
			保 安 係
			查 察 指 導 係
	警 防 課		警 防 係
			消 防 団 係
			救 急 救 助 係
	情 報 管 理 係		
	指令課	第 一 部	指 令 係
		第 二 部	指 令 係
熊 谷 消 防 署	予 防 係		
	第 一 部	指 揮 係	
		消 防 係	
		救 助 係	
		救 急 係	
	第 二 部	指 揮 係	
		消 防 係	
		救 助 係	
		救 急 係	
	玉 井 分 署	第 一 部	消 防 第 一 係
			消 防 第 二 係
			救 急 係
		第 二 部	消 防 第 一 係
			消 防 第 二 係
			救 急 係
	江 南 分 署	第 一 部	消 防 係
			救 急 係
		第 二 部	消 防 係
			救 急 係
中 央 消 防 署	予 防 係		
	第 一 部	消 防 第 一 係	
		消 防 第 二 係	
		救 助 係	
		救 急 係	
	第 二 部	消 防 第 一 係	
		消 防 第 二 係	
		救 助 係	
		救 急 係	
	大 里 分 署	第 一 部	消 防 係
			救 急 係
		第 二 部	消 防 係
			救 急 係
妻 沼 消 防 署	予 防 係		
	第 一 部	消 防 第 一 係	
		消 防 第 二 係	
		救 急 係	
	第 二 部	消 防 第 一 係	
		消 防 第 二 係	
		救 急 係	

# 消 防 配 置 図



# 消 防 通 信 系 統 図



# 消 防 本 部 事 務 分 掌

<p>消 防  総  務   課</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消防の総合企画及び調整に関すること。</li> <li>2 渉外及び儀式に関すること。</li> <li>3 表彰に関すること。</li> <li>4 公印の管理に関すること。</li> <li>5 文書の收受及び管理に関すること。</li> <li>6 消防が所有する情報の公開及び個人情報の保護に関すること。</li> <li>7 消防音楽隊に関すること。</li> <li>8 特命事項の調査及び研究に関すること。</li> <li>9 各種会議の開催及び調整に関すること。</li> <li>10 消防長会に関すること。</li> <li>11 消防年報の編集発行及び消防広報に関すること。</li> <li>12 職員の任用、分限、懲戒及び服務に関すること。</li> <li>13 職員の衛生管理に関すること。</li> <li>14 職員の被服貸与に関すること。</li> <li>15 職員の給料、手当及び公務災害補償に関すること。</li> <li>16 職員の消防に関する研修計画の策定及び実施に関すること。</li> <li>17 消防職員委員会に関すること。</li> <li>18 予算要望の取りまとめに関すること。</li> <li>19 物品の経理及び保管に関すること。</li> <li>20 消防長の権限に属する例規類の制定及び改廃に関すること。</li> <li>21 消防長の権限に属する訓令、通達、指令に関すること。</li> <li>22 庁舎及び構内の保守及び営繕に関すること。</li> <li>23 他の課に属さない事項の処理に関すること。</li> <li>24 本部内の連絡調整に関すること。</li> <li>25 課の庶務に関すること。</li> </ol>
<p>予  防   課</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 火災予防の企画に関すること。</li> <li>2 予防広報に関すること。</li> <li>3 屋外の火災予防措置命令に関すること。</li> <li>4 防火協力団体に関すること。</li> <li>5 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。</li> <li>6 建築許可等の同意に関すること。</li> <li>7 防火管理に関すること。</li> <li>8 危険物等の規制に関すること。</li> <li>9 危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。</li> <li>10 消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置の指導に関すること。</li> <li>11 熊谷市火災予防条例（平成１８年条例第１８４号）に関すること。</li> </ol>

予 防 課	<p>12 液化石油ガス、産業廃棄物、防災処理等の許可等に係る意見書等の交付に関する こと。</p> <p>13 火薬類取締法（昭和25年法律第143号）及び火薬類取締法施行規則（昭和2 5年通商産業省令第88号）に基づく事務に関すること。</p> <p>14 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく事務に関すること。</p> <p>15 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第1 49号）に基づく事務に関すること。</p> <p>16 消防署の予防事務の指導に関すること。</p> <p>17 その他の予防業務に関すること。</p> <p>18 課の庶務に関すること。</p>
警 防 課	<p>1 警防業務の総括に関すること。</p> <p>2 消防機械器具の整備保全及び配置に関すること。</p> <p>3 消防水利に関すること。</p> <p>4 公有自動車共済事務に関すること。</p> <p>5 消防安全管理に関すること。</p> <p>6 安全運転管理に関すること。</p> <p>7 開発行為に伴う消防上の指導に関すること。</p> <p>8 消防相互応援及び広域応援に関すること。</p> <p>9 火災警報の発令に関すること。</p> <p>10 救急業務及び救助業務の企画立案に関すること。</p> <p>11 消防統計（救急及び救助に係るものに限る。）に関すること。</p> <p>12 救急高度化事業の推進に関すること。</p> <p>13 医療機関との連絡調整に関すること。</p> <p>14 メディカルコントロール協議会に関すること。</p> <p>15 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。</p> <p>16 患者搬送事業の指導及び認定に関すること。</p> <p>17 応急手当の指導普及に関すること。</p> <p>18 消防団に関すること。</p> <p>19 団員に関すること。</p> <p>20 消防協会に関すること。</p> <p>21 消防連絡協議会に関すること。</p> <p>22 課の庶務に関すること。</p>
指 令 課	<p>1 出動指令及び転戦指令に関すること。</p> <p>2 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。</p> <p>3 消防救急無線の維持管理に関すること。</p> <p>4 熊谷市・行田市消防通信指令事務協議会に関すること</p> <p>5 通信技術の指導に関すること。</p>

指 令 課	6 災害情報収集及び活動支援情報の伝達に関する事。
	7 口頭指導プロトコールに関する事。
	8 気象観測業務に関する事。
	9 埼玉県防災行政無線に関する事。
	10 衛星通信システムに関する事。
	11 緊急通信システムに関する事。
	12 消防情報システムに関する事。
	13 課の庶務に関する事。

## 消 防 署 、 分 署 事 務 分 掌

消防署、分署の事務分掌は、水火災の警戒、鎮圧及び救助救急活動に関する事務のほか、次のとおりとする。

消 防 署	1 公印の保管に関する事。
	2 火災予防に関する事。
	3 防火対象物の査察及び違反処理に関する事。
	4 防火管理に関する事。
	5 消防用設備等（特殊消防用設備等）の検査及び検査済証の交付に関する事。
	6 消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検報告に関する事。
	7 消防法令に適合している旨の通知書等の交付に関する事。
	8 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関する事。
	9 り災証明及び救急搬送証明に関する事。
	10 圧縮アセチレンガス等の届出等に関する事。
	11 消防水利の保全調査に関する事。
	12 消防団、自衛消防隊及び自治会等に対する訓練指導に関する事。
	13 火災の原因及び損害の調査に関する事。
	14 応急手当の指導普及に関する事。
	15 その他消防活動上及び火災予防上必要な事項に関する事。
	16 署の安全運転管理に関する事。
	17 署の庶務に関する事。
署	熊谷消防署の事務分掌は、前項に掲げる事務のほか、次のとおりとする。
	1 消防部隊の訓練及び演習に関する事。
	2 指揮活動に関する事。
	3 災害活動技術の調査、研究及び計画に関する事。
	4 火災の原因及び損害の調査等に係る指導及び支援に関する事。
	5 火災等の報告及び統計に関する事。

# 現 有 人 員

令和3年4月1日現在

階 級 別 所 属 別			消 防 吏 員							その他	再任用	合計	
			正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長				士
実 員			1	2	27	43	80	40	35	13	1	6	248
実 員 配 置 状 況	消 防 本 部	消 防 長	1										1
		次 長		1									1
		消防総務課			1	2	2	4	3 (3)				12 (3)
		予 防 課			2	1	2	3				1	9
		警 防 課			2	3	2	3			1	1	12
		指 令 課			3	2	5	1				1	12
	消 防 署	熊谷消防署		1	5	9	17	10	6	3		1	52
		玉井分署			2	6	10	5	5	2			30
		江南分署			2	3	8	2	2	1			18
		中央消防署			4	8	17	8	8	4		1	50
		大里分署			2	2	9	2	3				18
		妻沼消防署			4	7	8	2	8	3		1	33

※ ( ) 内書きは、派遣職員及び消防総務課付学生

※ 実際の配置状況による。

## 消 防 職 員 年 齢 状 況

令和3年4月1日現在

階 級 別 年 齢 別	消 防 吏 員								その他	再任用	合計
	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士			
1 8 歳 ～ 2 0 歳								3			3
2 1 歳 ～ 2 5 歳							12	9			21
2 6 歳 ～ 3 0 歳						15	23	1			39
3 1 歳 ～ 3 5 歳					1	22			1		24
3 6 歳 ～ 4 0 歳					18	3					21
4 1 歳 ～ 4 5 歳				2	41						43
4 6 歳 ～ 5 0 歳			2	22	19						43
5 1 歳 ～ 5 5 歳			12	12	1						25
5 6 歳 以 上	1	2	13	7						6	29
人 員 計	1	2	27	43	80	40	35	13	1	6	248
平 均 年 齢	59	58	55	51	43	31	26	22	32	61	41

# 消 防 職 員 勤 続 年 数 状 況

令和3年4月1日現在

階 級 別 勤 続 年 数 別	消 防 吏 員								その他	再任用	合計
	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士			
1 年 未 満								4		3	7
1年以上～5年未満							8	9		3	20
5年以上～10年未満						13	27		1		41
10年以上～15年未満					8	25					33
15年以上～20年未満					16	2					18
20年以上～25年未満				4	24						28
25年以上～30年未満			2	18	32						52
3 0 年 以 上	1	2	25	21							49
人 員 計	1	2	27	43	80	40	35	13	1	6	248
平 均 勤 続 年 数	41	37	36	30	22	10	6	2	9	1	19

# 常 備 消 防 管 内 情 勢

令和3年4月1日現在

分 区 所 属 別	世帯数	人口	職員 現在数	再任用	職 員 1 人 当 り	
					世帯数	人口
消 防 本 部			44	3		
熊 谷 消 防 署	12,870	29,388	51	1	252	576
玉 井 分 署	18,266	41,114	30		608	1,370
江 南 分 署	6,328	14,019	18		346	778
中 央 消 防 署	34,770	74,012	49	1	709	1,510
大 里 分 署	5,226	12,061	18		290	670
妻 沼 消 防 署	10,298	23,948	32	1	321	748
合 計	87,758	194,542	※ 198	3	443	983

※ 職員現在数の合計は消防本部職員現在数を除いたものとなっています。



# 消 防 職 員 研 修 状 況 （現職）

令和3年4月1日現在

年 度 別			～H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
科 目 別									
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 科（ H 1 8 ～ ）	1	1	1	1	1		5
		上 級 幹 部 科							
		新 任 消 防 長 ・ 学 校 長 科							
	専科教育	警 防 科	7		1		1		9
		救 助 科	6		1				7
		救 急 科	1			1			2
		予 防 科	2	1					3
		危 険 物 科（ H 1 8 ～ ）							
		火 災 調 査 科	3		1		1		5
		指 揮 隊 長 コ ー ス	2	1		1		1	5
	校	緊急消防援助隊航空隊長コース							
		高度救助・特別高度救助コース						1	1
		女 性 活 躍 推 進 コ ー ス			1		1		2
		査 察 業 務 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス					1		1
埼 玉 県 消 防 大 学 校	初 任 教 育		207	7	8	6	3	2	233
	専科教育	警 防 科（ H 1 7 ～ ）	20	2	2	2	2	2	30
		予 防 査 察 科（ H 1 6 ～ ）	16	2		3		3	24
		火 災 調 査 科	11		3		3		17
		特 殊 災 害 科	11	2		2		2	17
		救 急 科	119	7	7	6	7	4	150
		救 助 科（ H 2 ～ ）	40	2	2	2	2	2	50
	特別教育	警 防 活 動 教 育	19	2	2	2	2		27
		水 難 救 助 員 教 育	5						5
		実 科 指 導 員 教 育	8	2		2			12
		女 性 消 防 操 法 指 導 員 教 育		2					2
		実 火 災 訓 練 指 導 者 教 育				1			1
		実 火 災 訓 練 教 育					2	2	4
		幹 部 特 別 教 育	4						4
校	初 級 幹 部 科	16	2	2	2	2	2	26	
	中 級 幹 部 科								
	上 級 幹 部 科								
	埼 玉 県 救 急 救 命 士 養 成 所	16	1	1	1	1		20	
救 急 救 命 東 京 研 修 所			16	1					17
救 急 救 命 九 州 研 修 所			1						1
合 計			531	35	32	32	29	21	680

# 消防吏員特殊技能その他資格取得者数

令和3年4月1日現在

階級別 種 別			正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	合 計
自動車運転免許	大型	第 一 種	1	2	27	43	80	41	32	3	229
		第 二 種			1	2	1				4
	中型	特 殊				1					1
		第 一 種	1	2	27	43	80	22		1	176
自動二輪車(含中型)		1	1	15	18	22	13	4	2	76	
移 動 式 クレーン 運 転 士						1				1	2
自動車整備士		ガソリン 3 級				1					1
危険物 取扱者 免許	甲種	第 1 類				1			1		2
	乙種	第 2 類				1					1
		第 3 類				1					1
		第 4 類	1	2	6	16	20	4	4	1	54
		第 5 類				1					1
		第 6 類				1					1
		丙種			3	8	43				54
消防 設備士 免許	甲種	第 1 類				1	1				2
		第 2 類				1					1
		第 3 類					1				1
		第 4 類				1	3				4
		第 5 類				1	1				2
	乙種	第 1 類				2	1				3
		第 2 類									
		第 3 類									
		第 4 類				1	2				3
		第 5 類									
		第 6 類		1	1	7	10	2	1		22
		第 7 類				1	1				2
小型船舶 操縦士 免許	1 級					1	1				2
	2 級			1	8	19	23	6	3		60
	特 殊			1	5	14	14	6	8		48
救 急 救 命 士					5	12	24	11	5	1	58
指 導 救 命 士						4					4
救 急 ( 標 準 ) 資 格 者				1	2	23	76	29	6		137
救 急 II 資 格 者				1	16	8					25
応 急 手 当 指 導 員					2	3					5
JPTECインストラクター			1	2	27	39	77	33	32	5	216
JPTECプロバイダー					1	5	3	2			11
					7	12	24	13	9		65

種 別 \ 階級別		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	合 計
無線技士 免 許	陸上特殊1級			2		1	1			4
	陸上特殊2級	1	1	10	8	7				27
	陸上特殊3級		1	6	23	44	39	32	5	150
玉 掛 け 技 能			1	7	6	11	14	5	1	45
小型移動式クレーン技能			1	7	6	11	15	5		45
高 所 作 業 車 技 能						1				1
電 気 工 事 士				1	2	4				7
特定化学作業主任者				7	12	13				32
第二種酸素欠乏危険 作 業 主 任 者		1		6	7	15	7	3		39
潜 水 士			2	6	9	18	10	9		54
ダ イ バ ー 技 能				3	4	14	1			22
足 場 組 立				3						3
防 災 士					2	3	2			7
二 級 建 築 士			1	1						2
衛 生 管 理 者			2	2	4	7				15
テクニカルロープレスキュー				4	4	6				14
スイフトウォーターレスキュー						2				2
予防技術 資 格 者	防 火 査 察	1	1	7	12	39	23	13		96
	消防用設備等	1	1	6	6	8	1			23
	危 険 物	1	1	4	6	8	1			21

## 消防費予算

令和3年度市当初予算額（一般会計）と消防費予算額の割合

市予算額 (千円)	消防費予算額 (千円)	割合 (%)
66,300,000	2,600,404	3.9

消防費予算額の内訳

款	項	目	予算額(千円)
消防費	消防費		2,600,404
		消防総務費	2,096,434
		常備消防費	320,817
		消防団費	106,164
		防災費	76,989

消防費予算額と人口、世帯の割合

令和3年4月1日現在

消防費予算額 (千円)	人口		世帯	
	人口	1人当り (円)	世帯	1世帯当り (円)
2,600,404	194,542	13,366	87,758	29,631

## 消 防 音 楽 隊

式典及び諸行事に参加し、音楽活動を通じて、広く地域住民に対して、消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発活動を図るため、平成13年10月1日に設立しました。消防関係行事をはじめ、市主催の各種行事にも参加し、演奏を行いながら消防のPRに努めています。

編成（令和3年4月1日現在）

(1) 隊員編成

隊長 1人      副隊長 2人      隊員 25人      合計 28人

(2) 使用楽器

楽器名	楽器名
フルート	フレンチホルン
クラリネット	ユーフォニアム
ソプラノサックス	チューバ
アルトサックス	ドラムセット
テナーサックス	バスドラム
バリトンサックス	シンバル
トランペット	シロフォン
トロンボーン	グロッケン
ティンパニー	

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、演奏会等での演奏実績なし。

---

# 消 防 施 設 ・ 機 械

---



令和2年11月に更新した熊谷2号車

# 消防本部、消防署、分署庁舎一覧表

令和3年4月1日現在

	所在地	構造等	延面積 (㎡)	建築年月
熊谷市消防本部 熊谷消防署	原島675番地1	鉄筋コンクリート造三階建	2,432.03	S58.6
訓練塔		鉄骨造 A塔 高さ 17.0m B塔 高さ 8.5m C塔 高さ 8.5m D塔 高さ 8.5m		H5.3 6.3 4.3 15.3
修理工場		鉄骨造平家建	85.00	S53.8
高圧ガス 容器貯蔵庫		コンクリートブロック造 平家建	8.76	S55.3
空気ボンベ 充填庫		コンクリートブロック造 平家建	18.26	H22.3
玉井分署	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	1,199.61	H3.3
江南分署	千代113番地2	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
中央消防署	末広二丁目134番地	鉄筋コンクリート造四階建 (四階は公民館)	2,996.78 〔消防 2,273.16〕 〔公民館 723.62〕	H25.2
大里分署	中曽根646番地	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
妻沼消防署	妻沼1720番地1	鉄筋コンクリート造三階建	1,198.80	H3.2

# 消防ポンプ自動車等性能一覧表

令和3年4月1日現在

	車名	種別	車名・型式	機装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
消防本部	本部指令1号車	指令車	トヨタ DBA-GRX120	埼玉トヨペット	H20	13	2,490		無線、AT
	消防総務1号車	連絡車	ニッサン HBD-DR17V	埼玉日産	H29	4	650		AT
	消防総務2号車	連絡車	マツダ EBD-DG64V	関東マツダ	H20	13	650		AT
	予防1号車	査察車	スズキ EBD-DA64V	関東イスズ	H19	14	650		無線、AT
	予防2号車	連絡車	トヨタ DAA-NKE165G	トヨタカローラ新埼玉	H27	6	1,490		ハイブリッド、無線、AT
	警防1号車	広報車	ホンダ DBA-RG1	ホンダカーズ	H20	13	1,990	—	無線、カーナビ、AVM
	警防2号車	装備車	スズキ EBD-DA64V	関東イスズ	H19	14	650		無線、AT、車両整備機材積載
	警防3号車	多目的車	イスズ CBF-JCSGE25	関東イスズ	H20	13	2,480		無線、AT、カーナビ、AVM
	消防本部車	業務車	トヨタ YA-JKS175	埼玉トヨタ	H13	20	2,990		ハイブリッド、AT、カーナビ
	救急指導車	救急指導車	トヨタ DBA-ZRR75W	埼玉トヨタ	H24	9	1,980		AT、カーナビ
熊谷消防署	熊谷指揮1号車	指揮車	トヨタ CBF-TRH226K	(株)ネイチャー	H18	15	2,690		無線機2台、AT、AVM、FAX、PC指揮用機材、緊急消防援助隊登録
	熊谷1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	(株)ネイチャー	H27	6	6,400	A-2級	水Ⅱ型、水槽2,000ℓ、無線AVM、照明灯(LED90W×4)
	熊谷2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ 2KG-XZU685M	モリタ	R2	1	4,000	A-2級	CD-1型、無線、4WD、牽引フックAVM、照明灯(ハロゲン500W×2)、緊急消防援助隊登録
	熊谷救助1号車	救助工作車	ヒノ SDG-GX7JGAH24	(株)モリタ	H23	10	6,400		救助Ⅲ型、無線、AVM、照明灯(450W×2)クレーン2,93t、ウインチ(フロント5t、リヤ5t)、埼玉県特別機動援助隊登録、緊急消防援助隊登録
	救急熊谷1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H30	3	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ緊急消防援助隊登録
	熊谷指令1号車	指令車	マツダ DBF-BVY12	マツダオートザム	H23	10	1,490		無線、AT、AVM
	熊谷査察1号車	査察車	ニッサン HBD-DR17V	埼玉日産	H28	5	650		無線、AT、4WD
	熊谷支援1号車	支援車	ヒノ BDG-FQ1EWYG	ヨコハマモーターセールス	H22	11	12,910		無線、4WD、パワーゲート、拡張室定員10(26)人、緊急消防援助隊登録



	車 名	種 別	車名・型式	艀装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
熊 谷 消 防 署	熊谷機材 1号車	資機材搬送車	ミツビシ KK-FE53EE	三菱ふそう	H12	21	5,240		3tロングボディー、無線 AVM、幌、パワーゲート、 緊急消防援助隊登録
	中型輸送車	人員輸送車	ミツビシ 2RG- BE740G	三菱ふそう	R1	2	2,990		AT、カーナビ
	熊 谷 トレーラ	ボート トレーラ	キング	(株)スナガ	H21	12			熊谷ボート用
	熊 谷 ボート	救助用 ボート	ヤマハ W-18E		S61	35			船外機M-25C-25PS トーハツ
	熊 谷 ボート 1	救助用 ボート	アキレス FRB-380		R2	1			船外機JET20-20PSマーキュリー
	熊 谷 ボート 2	救助用 ボート	アキレス S G-140		H17	16			
玉 井 分 署	玉井 1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ PB- GD7JGFA改	(株)ネイチャー	H16	17	6,400	A-2級	水 I B型、水槽1,500ℓ、無線、AVM 照明灯(メタハラ400W×4)
	玉井 2号車	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H20	13	4,000	A-2級	CD-I 型、無線、AVM、キャブス装置 照明灯(メタハラ150W×2)、電動ホー スカー
	熊谷梯子 1号車	はしご付 消防自動車	ヒノ 2PG- FH1AGA	(株)モリタ	R2	1	8,860		MSC25型、無線、AT AVM、25m級、屈折はしご型 バスケット
	熊谷化学 1号車	化学車	ヒノ SDG- GD7JGAA改	(株)ネイチャー	H25	8	6,400	A-2級	化学II型、水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ 無線、AVM、キャブス装置、 照明灯(メタハラ150W×2)
	救急玉井 1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテッ クジャパン	H26	7	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ
	玉井査察 1号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H26	7	650		無線、AT、4WD
江 南 分 署	江南 1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ 2KG- GX2ABA	(株)ネイチャー	H29	4	5,120	A-2級	水 I B型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、カーナビ、照明灯(LED90W×4)
	救急江南 1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテッ クジャパン	H28	5	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ
	江南査察 1号車	査察車	ミツビシ GBD-U62V	ミツビシ	H25	8	650		無線、4WD
	江 南 ボート	救助用 ボート	アキレス LRB-330		H26	7			定員 6 名
	江南可搬 式ポンプ	小型動力 ポンプ	トーハツ V38-AS	トーハツ	S49	47	385	B-3級	

	車 名	種 別	車名・型式	艀装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
中 央 消 防 署	中央1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- GD7JGWA改	(株)ネイチャー	H22	11	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、 電動ホースカー
	中央2号車	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	12	4,000	A-2級	CD-I型、無線、AVM、キャフス装置 照明灯(メタハラ70W×2)、 緊急消防援助隊登録
	中央3号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	12	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、 電動ホースカー
	熊谷梯子 2号車	はしご付 消防自動車	ヒノ LDG- PR1APBF	(株)モリタ	H22	11	8,860		MLJSH5-30S型、無線、AT、4WS AVM、30m級、先端屈折 リフター、バスケット
	熊谷救助 2号車	救助工作車	ヒノ PB-GX7GFA	帝国繊維	H17	16	6,400		救助II型、無線、カーナビ、4WD、クレーン2.93t AVM、油圧ウインチ(フロント5t、リヤ10t) 照明灯(600W×4)
	救急中央 1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテック クジャパン	H28	5	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ
	救急中央 2号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテック クジャパン	H29	4	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ、 緊急消防援助隊登録
	中央指令 1号車	指令車	ニッサン TA-WFY11	埼玉日産	H13	20	1,490		無線、AT、AVM
	中央査察 1号車	査察車	マツダ HBD-DG17V	マツダ オートザム	H30	3	650		無線、AT、4WD
	中央査察 2号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H26	7	650		無線、4WD
	中央 ボート	救助用 ボート	エイボン社		H21	12			船外機M8A-8PS トーハツ
大 里 分 署	中央可搬 式ポンプ 1	小型動力 ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	47	385	B-3級	
	大里1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ SDG- GX7JGAA改	(株)ネイチャー	H28	5	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、カーナビ、照明灯(LED90W×4) 緊急消防援助隊登録
	救急大里 1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテック クジャパン	H27	6	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ
	大里査察 1号車	査察車	三菱 GBD-U62V	三菱	H25	8	650		無線、4WD
	大里 ボート	救助用 ボート	アキレス LRB-330		H26	7			定員6名
	大里可搬 式ポンプ	小型動力 ポンプ	シバウラ L618Z	シバウラ	H22	11	600	B-2級	

	車 名	種 別	車名・型式	艀装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
妻 沼 消 防 署	妻沼 1 号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	12	6,400	A-2級	水 I B型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、 電動ホースカー
	妻沼 2 号車	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU685M	(株)モリタ	H26	7	4,000	A-2級	CD- I 型、無線、AVM、4WD 牽引フック、キャフス装置、 緊急消防援助隊登録
	救急妻沼 1 号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテック クジヤパン	H27	6	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ
	妻沼指令 1 号車	指令車	ニッサン DBA-NT31	ニッサン	H25	8	1,990		無線、AT、AVM、4WD、牽引フック
	妻沼査察 1 号車	査察車	マツダ HBD-DG17V	マツダ オートザム	H30	3	650		無線、AT、4WD
	妻 沼 トレーラ	ボート トレーラ	サン自動車		H7	26			妻沼ボート用
	妻沼バイク トレーラ	水上バイク トレーラ	キング	(株)スナガ	H20	13			熊谷水上バイク1用
	妻 沼 ボート	救助用 ボート	スナガ SF-16		H7	26			船外機MERC15-13PSマーキュリー
	熊谷水上 バイク 1	水上バイク	BRP社	(株)スナガ	H20	13	1,494		船内機ROTAX1503-131PS
	妻沼可搬 式ポンプ	小型動力 ポンプ	V-175BS	トーハツ	S54	42	746	B-2級	
非 常 用 車 両	予備 水槽車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ KK- GD1JGDA改	GMいちほら	H12	21	7,960	A-2級	水 I B型、水槽1,500ℓ、無線 AVM、照明灯(メタハラ400W×4)
	予備 1 ポンプ車	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK- XZU371M	日本エレ ファント	H12	21	4,897	A-2級	CD- I 型、無線傍受機、AVM
	予備 2 ポンプ車	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK- XZU331M	日本エレ ファント	H12	21	4,897	A-2級	CD- I 型、無線傍受機
	救急熊谷 2 号車	救急車	トヨタ CBF- TRH226S	トヨタテク ノクラフト	H20	13	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD AVM、自動車電話、バックアイ

# 主な救助用資器材の保有状況

令和3年4月1日現在

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
一般救助用器具	かぎ付き梯子	10	1	3	1	4		1
	三連梯子	14	3	3	1	4	1	2
	ワイヤー梯子	3	1	1		1		
	空気式救助マット	2	1			1		
	救命索発射銃	2	1			1		
	サバイバースリング及び縛帯	7	2	2		3		
	平担架	3	1	1		1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	1			1		
	油圧スプレッダー	2	1			1		
	可搬ウインチ	3	2			1		
	マンホール救助器具	2	1			1		
	マット型空気ジャッキ	2	1			1		
	大型油圧スプレッダー	2	1			1		
	救助用支柱器具	1	1					
切断用器具	チェーンブロック	1	1					
	油圧切断器	4	1	1		2		
	エンジンカッター	12	2	3	1	4	1	1
	ガス溶断器	2	1			1		
	チェーンソー	9	2	1	1	3	1	1
	鉄線カッター	14	2	3	1	5	1	2
	空気鋸	4	1		1	2		
	大型油圧切断器	2	1			1		
	空気切断器	2	1			1		
破壊用器具	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	1					
	万能斧	16	3	4	2	4	2	1
	ハンマー	15	5	2	1	4	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	3	1			1		1
	削岩機	2	1			1		
測定用器具	ハンマドリル	3	2			1		
	可燃性ガス測定器	10	3		1	4	1	1
	有毒ガス測定器	13	5		1	5	1	1
	酸素濃度測定器	10	3		1	4	1	1
	放射線測定器	14	9			4		1
呼吸保護用器具	化学剤検知器	1	1					
	空気呼吸器	80	21	17	4	26	4	8
	酸素呼吸器	10	5			5		
	簡易呼吸器	14	7			7		
	防塵マスク	87	24	8	8	26	8	13
送排風機	送排風機	10	2	2	1	3	1	1

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
隊員保護用器具	耐電手袋	25	5	4		8	4	4
	耐電衣	11	2	4		5		
	耐電ズボン	11	2	4		5		
	耐電長靴	11	2	4		5		
	防塵メガネ	21	5			10		6
	携帯警報機	39	13	9	4	5	4	4
	特殊ヘルメット	2				2		
	防毒マスク	41	18	3	3	11	3	3
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	67	34			33		
	陽圧式化学防護服	20	15			5		
	耐熱服	5	2	3				
	放射線防護服	4	2			2		
除染器具	除染シャワー	3	2			1		
	除染剤散布器	2	1			1		
水難救助器具	潜水器具	13	13					
	救命胴衣	58	12	4	6	16	6	14
	救命浮環	8	3		1	2	1	1
	救命ボート	6	2		1	1	1	1
	船外機	4	2			1		1
	浮標	1	1					
山岳器具	バスケット担架	6	2			3		1
検索器具	簡易画像探索機	4	1	1		2		
高度救助用器具	画像探索機	2	2					
	地中音響探知機	1	1					
	熱画像直視装置	2	1			1		
	夜間用暗視装置	1	1					
	電磁波探査装置	1	1					
	地震警報機	1	1					
その他の救助用器具	投光器	17	4	4	1	5	1	2
	携帯投光器	52	13	9	7	11	5	7
	携帯拡声器	20	4	6	1	6	1	2
	携帯無線機	20	7	4	1	5	1	2
	応急処置用セット	11	2	2	1	4	1	1
	車両移動器具	6	4			2		
	緩降機	4	1	1		2		
	ロープ登降機	2	1			1		
	救助用降下機	7	5			2		
	発電機	18	4	4	1	6	1	2

# 通 信 施 設

令和3年4月1日現在

区 分		本部・熊谷 消 防 署	玉 井 署	江 南 署	中 央 消防署	大 里 署	妻 沼 消防署	合計
119回線		12						12
消防専用回線			1	1	1	1	1	5
加入電話		20	3	3	5	3	5	39
埼玉県衛星通信 ネットワーク		1						1
聴覚障害者専用 FAX		1						1
警察専用電話		1						1
東京ガス専用電話		1						1
市水道部		1						1
市役所直通電話		1						1
日本緊急通報 サービス		2						2
テレドーム		1						1
携帯電話		7	1	1	4	1	1	15
タブレット端末		3	1	1	2	1	1	9
市防災行政無線		1						1
Net119		1						1
県防災行政無線		1						1
消防救急無線	基地局	1						1
	車載局	16	6	3	10	3	6	44
	携帯局	17(2)	5	2	8	2	4	38(2)

※（ ）内書きは、可搬型携帯局

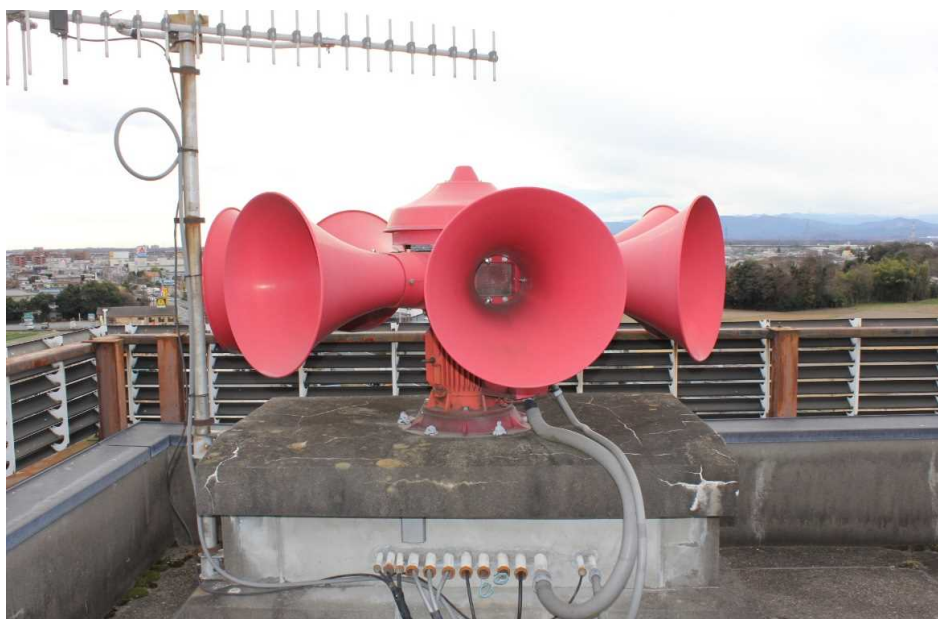
1 1 9 番通報受信件数

	119	IP119	携帯119	合 計
火 災	18	22	56	96
救 急	1,654	2,486	3,532	7,672
救 助	3	12	30	45
警 戒	25	11	72	108
試 験	359	5	21	385
通報訓練	335	365	34	734
間違い	122	47	240	409
いたずら	9	11	13	33
病院問合せ	66	125	382	573
一般問合せ	102	88	238	428
携帯転送	0	0	0	0
その他	214	120	501	835
合 計	2,907	3,292	5,119	11,318

---

# 消 防 水 利

---



消防サイレン  
令和2年12月31日 正午のサイレン吹鳴終了



# 消 防 水 利 状 況

令和3年4月1日現在 単位(基)

分団別 種別			石原	荒川	上石	中央	筑波	肥塚	成田	佐谷田	久下	大幡	大麻生	
防火水槽	100㎡以上	公設	1			2						1		
		私設			1	1	4							
	40㎡以上 100㎡未満	公設	4	3	15	3	2	4	8	7	3	18	24	
		私設	14	14	20	8	29	6	11	5		18	19	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	4	4	17	1		6		2		23	16	
		私設	18	34	26	22	31	13	18	10	3	37	22	
掘井戸	40㎡以上	公設		2		1	2		1	1	2			
		私設					1							
	20㎡以上 40㎡未満	公設	7	2		16	10	5	9	11				
		私設												
	20㎡未満	公設	3	5		1		3	2	1		4		
		私設					1							
さく井式井戸	40㎡以上	公設	1	6		7	28	8	76	82	36			
		私設		3		1	15	10	43	30	12	2		
	20㎡以上 40㎡未満	公設	1	9		11	8	32	34	26	14	6		
		私設	1				4	7	8	6	3	3		
	20㎡未満	公設		6				4	2		1			
		私設							1					
消火栓			公設	126	152	125	138	147	131	216	110	82	148	147
			私設											
その他			4	3		1	2		4	2	1	2	4	
合 計			184	243	204	213	284	229	433	293	157	262	232	

分団別 種別			玉井	中条	奈良	別府	三尻	吉岡	太井	星宮	妻沼	弥藤吾	男沼	
防火水槽	100㎡以上	公設					1							
		私設	1				2							
	40㎡以上 100㎡未満	公設	25	1	3	3	49	16		1	5	4	6	
		私設	34	4	11	4	35	23	1		16	12	11	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	30		14	18	24	10			2			
		私設	47	4	11	7	57	16		1	5	2	4	
掘井戸	40㎡以上	公設		1	4	1		4				1	3	
		私設												
	20㎡以上 40㎡未満	公設		8	7	7		1		6	20	4	26	
		私設												
	20㎡未満	公設		2	8			2			12	13	4	
		私設												
さく井式井戸	40㎡以上	公設		33	10	1			18	19	8	4		
		私設		8	3				9	5	17	2		
	20㎡以上 40㎡未満	公設		60	27	8		1	3	9	27	21	15	
		私設		8	4	1		3			21	13	2	
	20㎡未満	公設						1			3		1	
		私設						2				1		
消火栓			公設	374	126	137	113	315	170	15	43	111	64	61
			私設	1										
その他			5	2	2	2	3	3		1	2	2	1	
合 計			517	257	241	165	486	252	46	85	249	143	134	

分団別 種別			小島	太田	長井	秦	大里中央	大里北	大里南	江南中央	江南北	江南南	合計
防火水槽	100㎡以上	公設											5
		私設							2				11
	40㎡以上 100㎡未満	公設	1	8	14	5		2	11	14	5	11	275
		私設		8	30	3	1	3	8	26	6	10	390
	20㎡以上 40㎡未満	公設		1	2		10	15	28	16	23	18	284
		私設		2	3	3	1	2	4	23	3	5	434
掘井戸	40㎡以上	公設			1	2		3					29
		私設											1
	20㎡以上 40㎡未満	公設	10	25	25	28		1					228
		私設											
	20㎡未満	公設	2	11	15	15		2					105
		私設											1
さく井式井戸	40㎡以上	公設		2	8	5	7	24	6				389
		私設		3	13	2		2					180
	20㎡以上 40㎡未満	公設	9	32	45	29	8	21	13				469
		私設		19	32	5		3					143
	20㎡未満	公設	2	4	2		2	4	2				34
		私設		2	4				1				11
消火栓		公設	13	89	117	66	18	55	91	188	121	128	3,937
		私設			1							3	5
その他			1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	57
合計			38	207	313	164	48	138	166	270	159	176	6,988

# 署 別 消 防 水 利 状 況

令和3年4月1日現在 単位(基)

署別 種別			熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合 計
防火水槽	100㎡以上	公設	1	1		3			5
		私設	1	3	2	5			11
	40㎡以上 100㎡未満	公設	57	77	43	39	16	43	275
		私設	68	73	60	92	17	80	390
	20㎡以上 40㎡未満	公設	64	72	58	23	62	5	284
		私設	95	111	41	155	13	19	434
掘井戸	40㎡以上	公設	5	1	2	9	5	7	29
		私設				1			1
	20㎡以上 40㎡未満	公設	16	7	1	65	1	138	228
		私設							
	20㎡未満	公設	14		1	15	3	72	105
		私設				1			1
さく井式井戸	40㎡以上	公設	44	1		280	37	27	389
		私設	14			127	2	37	180
	20㎡以上 40㎡未満	公設	95	8		145	43	178	469
		私設	17	1	2	27	4	92	143
	20㎡未満	公設				13	9	12	34
		私設				1	3	7	11
消火栓		公設	629	802	522	1,214	249	521	3,937
		私設		1	2		1	1	5
その他			10	10	4	18	6	9	57
合 計			1,130	1,168	738	2,233	471	1,248	6,988

# 火 災 予 防



熊谷市立石原小学校  
近藤 佑香さんの作品です。



熊谷市立籠原小学校  
新井 咲那さんの作品です。

熊谷市消防本部が主催する令和2年度秋季及び春季火災予防運動  
ポスターコンクールにおいて、最優秀賞を受賞した作品です。

# 防 火 対 象 物 数

令和3年4月1日現在（検査実施対象物数は令和2年度中）

用 途 別	防 火 対 象 物		
	令第6条該当対象物	検査を要する対象物	検査実施対象物
(1) 劇場、映画館、集会場の類	89	55	
(2) キャバレー、遊技場の類	26	18	1
(3) 料理店、飲食店の類	172	46	
(4) 百貨店、マーケットの類	281	139	2
(5) 旅館、共同住宅の類	1,772	783	10
(6) 病院、福祉施設、幼稚園の類	423	239	16
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	255	218	3
(8) 図書館、博物館の類	7	6	
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	10	5	
(10) 車両の駐車場の類	2	2	
(11) 社寺、教会の類	66	45	
(12) 工場、作業場の類	791	545	5
(13) 自動車車庫、駐車場の類	48	33	
(14) 倉 庫	713	440	4
(15) 前各号に該当しない事業場	857	638	3
(16) 複合用途防火対象物	652	471	10
(16の2) 地 下 街			
(16の3) 準 地 下 街			
(17) 重要文化財、重要民族資料等	16	1	
(18) ア ー ケ ー ド			
(19) 山 林			
(20) 舟 車			
合 計	6,180	3,684	54

# 消 防 同 意 件 数

令和2年度中

工 事 別 用 途 別	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他	合 計
劇場、映画館、集会場の類	1								1
キャバレー、遊技場の類									
料理店、飲食店の類	2								2
百貨店、マーケットの類	15								15
旅館、共同住宅の類	14								14
病院、福祉施設、幼稚園の類	10	2							12
小、中、高、大学 各種学校の類	5							1	6
図書館、博物館の類									
公衆浴場、特殊浴場の類									
車両の駐車場の類									
社寺、教会の類	2								2
工場、作業場の類	5								5
自動車車庫、駐車場									
倉庫	13	1							14
前各号に該当しない事業場	33								33
複 合 用 途	12								12
重 要 文 化 財 の 類									
専 用 住 宅	24								24
危 険 物 製 造 所 等	1								1
建 築 設 備									
そ の 他	42								42
合 計	179	3						1	183

危険物の類別製造所等施設数

令和3年4月1日現在

類 別  施 設 別			対 象 施設数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製 造 所			5				3			2
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		101	1	1		93	1		5
	屋外タンク貯蔵所		61				61			
	屋内タンク貯蔵所		11				11			
	地下タンク貯蔵所		136				136			
	簡易タンク貯蔵所		3				3			
	移動タンク貯蔵所		38				38			
	屋 外 貯 蔵 所		15				15			
取扱所	給 油 取扱所	営 業 用 （セルフ）	45 (15)				45 (15)			
		自 家 用	63				63			
	第1種販売取扱所		3				3			
	第2種販売取扱所									
	一 般 取 扱 所		110				107			3
	合 計			591	1	1		578	1	



危険物の指定数量倍数別製造所等施設数

令和3年4月1日現在

施設別 \ 倍 数 別			5 倍 以 下	5 倍 を超え 10 倍 以下	10 倍 を超え 50 倍 以下	50 倍 を超え 100倍 以下	100倍 を超え 150倍 以下	150倍 を超え 200倍 以下	200倍 を超え 1000倍 以下	1000倍 を超え 5000倍 以下	合 計
製 造 所				3	1	1					5
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		54	17	22	4	2	1	1		101
	屋外タンク貯蔵所		17	6	24	8		2	4		61
	屋内タンク貯蔵所		8	3							11
	地下タンク貯蔵所		65	36	24	6	3	1	1		136
	簡易タンク貯蔵所		3								3
	移動タンク貯蔵所		26	1	3	7	1				38
	屋 外 貯 蔵 所		7	6	2						15
取扱所	給 油 取扱所	営 業 用 (セルフ)		1		8	10	11 (2)	15 (13)		45 (15)
		自 家 用	6	13	38	5	1				63
	第1種販売取扱所		1	2							3
	第2種販売取扱所										
	一 般 取 扱 所		43	31	28	2	1	1	4		110
合 計			230	119	142	41	18	16	25		591

# 防 火 対 象 物 別 消 防 訓 練 実 施 状 況

令和 2 年中

用 途 別	実 施 回 数	参 加 人 員
(1) 劇場、映画館、集会場の類	54	488
(2) キャバレー、遊技場の類	14	66
(3) 料理店、飲食店の類	72	346
(4) 百貨店、マーケットの類	114	1,163
(5) 旅館、共同住宅の類	33	416
(6) 病院、福祉施設、幼稚園の類	349	20,010
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	24	8,751
(8) 図書館、博物館の類	4	84
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	6	74
(10) 車両の停車場の類		
(11) 社寺、教会の類	5	127
(12) 工場、作業場の類	37	3,784
(13) 自動車車庫、駐車場		
(14) 倉 庫	4	92
(15) 前各号に該当しない事業場	49	1,292
(16) 複合用途防火対象物	252	12,197
(16の2) 地 下 街		
(16の3) 準 地 下 街		
(17) 重要文化財、重要民族資料等		
(18) ア ー ケ ー ド		
(19) 山 林		
(20) 舟 車		
合 計	1,017	48,890

---

# 火 災

---

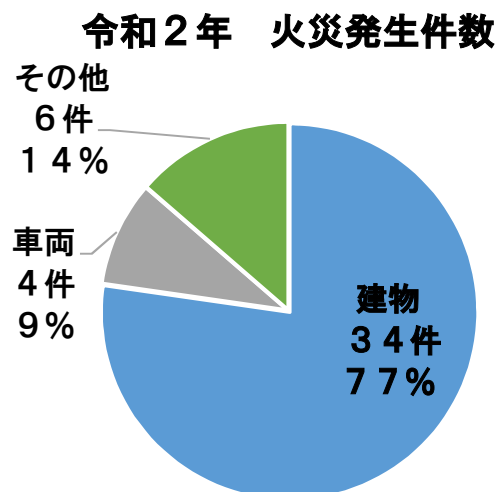


令和3年2月に更新した新型防火衣

## 火災の発生状況

区分 \ 年別	令和2年	令和元年	増 減 数
火 災 件 数	44	46	△ 2
建 物	34	33	1
林 野			
車 両	4	6	△ 2
船 舶			
航 空 機			
そ の 他	6	7	△ 1
建物焼損床面積 (㎡)	745	544	201
建物焼損表面積 (㎡)	5	91	△ 86
林野焼損面積 (a)			
車両等焼損台数	14	9	5
損 害 額 (千円)	71,230	141,254	△ 70,024
焼 損 棟 数	42	46	△ 4
り 災 世 帯 数	24	23	1
り 災 人 員	54	58	△ 4
死 者	1	1	
65歳以上の死者			
負 傷 者	8	3	5
30 日 死 者			
出 火 率	2.3	2.3	

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。



# 月別火災発生状況

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数		5	7	5	6	3	3	2	6	2	1	4		44
	建 物	3	6	5	3	2	3	1	6	1		4		34
	林 野													
	車 両	1	1					1			1			4
	船 舶													
	航空機													
	その他	1			3	1				1				6
焼損棟数		3	8	6	4	3	4	1	6	1		6		42
	全 焼		2	1	2	3	1					1		10
	半 焼		2	2								1		5
	部分焼	1	1		1		1							4
	ぼ や	2	3	3	1		2	1	6	1		4		23
死傷者				2	2		3					2		9
	死 者											1		1
	負傷者			2	2		3					1		8
	(30日死者)													
り災世帯			4	3	3		3		5	1		5		24
	全 損			2	1		1					1		5
	半 損													
	小 損		4	1	2		2		5	1		4		19
り災人員			10	7	9		7		10	1		10		54
建物焼損床面積(㎡)		3	189	77	103	138	150					85		745
建物焼損表面積(㎡)					3		2							5
林野焼損面積(a)														
車両等焼損台数		2	2	6			1	1			1	1		14
損害額(千円)		516	17,820	24,266	11,036	517	10,436		322	7	565	5,745		71,230
	建 物	建築物	68	5,286	7,998	10,809	302	8,208		310		5,159		38,140
		収容物	340	10,867	11,628	217	186	1,784		12	7	295		25,336
	林 野													
	車 両		73	1,192	4,640						565	285		6,755
	船 舶													
	航空機													
	その他		35	475		10	29	444				6		999
	爆 発													

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

# 署別火災発生状況

区 分	熊谷 消防署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	大里 分署	妻沼 消防署	合計	前年 合計	増減数
火災件数	2	8	5	19	2	8	44	46	△ 2
建物		5	5	15	1	8	34	33	1
林 野									
車 両				3	1		4	6	△ 2
船 舶									
航空機									
その他	2	3		1			6	7	△ 1
焼損棟数		5	6	19	1	11	42	46	△ 4
全 焼		1	3	2		4	10	9	1
半 焼		1		4			5	1	4
部分焼				2		2	4	13	△ 9
ぼ や		3	3	11	1	5	23	23	
死傷者			1	5		3	9	4	5
死 者						1	1	1	
負傷者			1	5		2	8	3	5
(30日死者)									
り災世帯		2	4	11	1	6	24	23	1
全 損			1	3		1	5	3	2
半 損								1	△ 1
小 損		2	3	8	1	5	19	19	
り災人員		4	11	21	5	13	54	58	△ 4
建物焼損床面積(㎡)		8	105	408		224	745	544	201
建物焼損表面積(㎡)				2		3	5	91	△ 86
林野焼損面積(a)									
車両等焼損台数			1	11	1	1	14	9	5
損害額(千円)	29	300	11,170	51,560	1,633	6,538	71,230	141,254	△ 70,024
建物									
建築物		230	10,921	21,652		5,337	38,140	77,824	△ 39,684
収容物		60	202	24,151	8	915	25,336	18,036	7,300
林 野									
車 両			42	5,278	1,150	285	6,755	2,679	4,076
船 舶									
航空機									
その他	29	10	5	479	475	1	999	42,715	△ 41,716
爆 発									

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

月別、分団別火災発生件数

分団別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
石	原								1					1
荒	川		1	1										2
上	石													
中	央	1	1				1							3
筑	波								1					1
肥	塚	1		1					1					3
成	田	2	1					1	2		1			7
佐	谷 田			1										1
久	下						1							1
大	幡													
大	麻 生					1								1
玉	井			1	2				1			1		5
中	条									1				1
奈	良													
別	府		1											1
三	尻				1			1						2
吉	岡													
太	井													
星	宮													
妻	沼													
弥	藤 吾	1												1
男	沼									1				1
小	島													
太	田		1		1	1	1					1		5
長	井					1								1
秦														
大	里 中 央													
大	里 北													
大	里 南		1	1										2
江	南 中 央				1							1		2
江	南 北				1									1
江	南 南		1									1		2
合	計	5	7	5	6	3	3	2	6	2	1	4		44

月別、時刻別火災発生件数

時刻別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0 ~ 1													
1 ~ 2								1					1
2 ~ 3							1						1
3 ~ 4											1		1
4 ~ 5													
5 ~ 6													
6 ~ 7											1		1
7 ~ 8				1				2					3
8 ~ 9	1					1							2
9 ~ 10				1			1						2
10 ~ 11		1											1
11 ~ 12		1	1		1	1							4
12 ~ 13			1	2									3
13 ~ 14		1											1
14 ~ 15		1	1			1							3
15 ~ 16	1										1		2
16 ~ 17		1		1					1				3
17 ~ 18			1										1
18 ~ 19				1				2					3
19 ~ 20								1	1		1		3
20 ~ 21	2	1			1								4
21 ~ 22		1											1
22 ~ 23					1								1
23 ~ 24													
不 明	1		1							1			3
合 計	5	7	5	6	3	3	2	6	2	1	4		44



# 損害額及び焼損面積区分による火災発生件数

損 害 額 区 分	件 数	焼 損 床 面 積 区 分	件 数
1 万円未満	17	3. 3 m <sup>2</sup> 未満	24
1 万円以上 5 0 万円未満	18	3. 3 m <sup>2</sup> 以上 5 0 m <sup>2</sup> 未満	4
5 0 万円以上 1 0 0 万円未満	1	5 0 m <sup>2</sup> 以上 1 0 0 m <sup>2</sup> 未満	2
1 0 0 万円以上 2 0 0 万円未満	2	1 0 0 m <sup>2</sup> 以上 2 0 0 m <sup>2</sup> 未満	4
2 0 0 万円以上 3 0 0 万円未満		2 0 0 m <sup>2</sup> 以上 3 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
3 0 0 万円以上 4 0 0 万円未満		3 0 0 m <sup>2</sup> 以上 4 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
4 0 0 万円以上 5 0 0 万円未満		4 0 0 m <sup>2</sup> 以上 5 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
5 0 0 万円以上 6 0 0 万円未満	1	5 0 0 m <sup>2</sup> 以上 6 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
6 0 0 万円以上 7 0 0 万円未満		6 0 0 m <sup>2</sup> 以上 7 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
7 0 0 万円以上 8 0 0 万円未満	1	7 0 0 m <sup>2</sup> 以上 8 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
8 0 0 万円以上 9 0 0 万円未満		8 0 0 m <sup>2</sup> 以上 9 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
9 0 0 万円以上 1, 0 0 0 万円未満	1	9 0 0 m <sup>2</sup> 以上 1, 0 0 0 m <sup>2</sup> 未満	
1, 0 0 0 万円以上 1, 5 0 0 万円未満	2	1, 0 0 0 m <sup>2</sup> 以上	
1, 5 0 0 万円以上	1	(林野、車両、その他)	10
合 計	44	合 計	44

# 出火原因別火災発生件数

区分 \ 年別	令和2年	令和元年	増減数
たばこ	2	2	
こんろ	7	5	2
かまど			
風呂かまど			
炉			
焼却炉	1	2	△1
ストーブ	1	1	
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道			
排気管	1	1	
電気機器	1	3	△2
電気装置			
電灯・電話等の配線		2	△2
内燃機関			
配線器具	3	2	1
火遊び			
マッチ・ライター	1		1
焚き火	2	2	
溶接機・溶断機	1		1
灯火		2	△2
衝突の火花			
取灰			
火入れ	1	4	△3
放火	4	6	△2
放火の疑い	2		2
その他	11	11	
不明・調査中	6	3	3
合計	44	46	△2

※ 出火原因区分は、火災報告取扱要領国表03表による。

曜日別火災発生件数

種別 曜日別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合 計
日 曜 日	4		1			1	6
月 曜 日	5						5
火 曜 日	1						1
水 曜 日	4					2	6
木 曜 日	10		1			1	12
金 曜 日	8		2			1	11
土 曜 日	2					1	3
不 明							
合 計	34		4			6	44

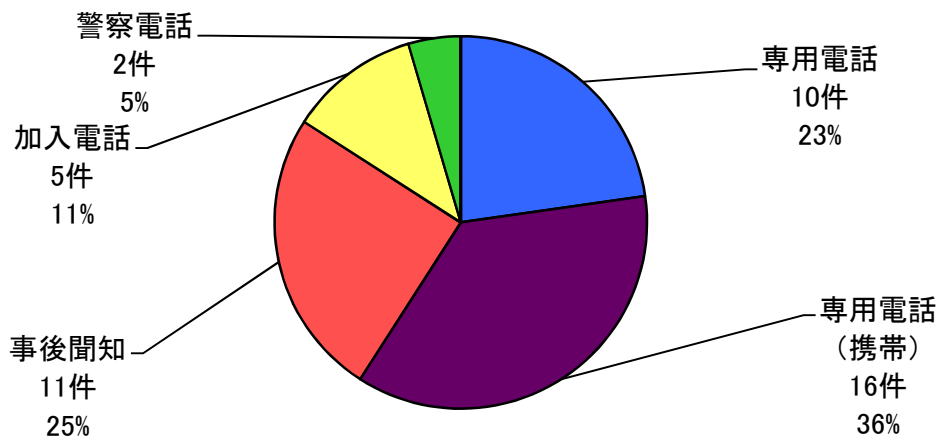
時刻別火災発生件数

種別 時刻別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合 計
0 ~ 1							
1 ~ 2	1						1
2 ~ 3			1				1
3 ~ 4	1						1
4 ~ 5							
5 ~ 6							
6 ~ 7	1						1
7 ~ 8	3						3
8 ~ 9	2						2
9 ~ 10	1					1	2
10 ~ 11	1						1
11 ~ 12	3		1				4
12 ~ 13	1					2	3
13 ~ 14	1						1
14 ~ 15	3						3
15 ~ 16	1					1	2
16 ~ 17	2					1	3
17 ~ 18	1						1
18 ~ 19	3						3
19 ~ 20	3						3
20 ~ 21	4						4
21 ~ 22	1						1
22 ~ 23						1	1
23 ~ 24							
不 明	1		2				3
合 計	34		4			6	44

## 火災発生覚知別件数

月別	区分	専用電話	専用電話 (携帯)	事後間知	加入電話	警察電話	駆付通報	その他	合 計
1月			3	1	1				5
2月		3	3	1					7
3月		2	1	1	1				5
4月			2	3	1				6
5月		1	2						3
6月			1	1		1			3
7月			2						2
8月			1	3	1	1			6
9月		2							2
10月				1					1
11月		2	1		1				4
12月									
合 計		10件	16件	11件	5件	2件			44件

## 火災発生覚知別件数



## 主なる火災 (損害額1,000万円以上の火災)

月 日	地 区	用 途	焼損床・表面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)
2月3日	熊谷市上之地内	事務所	床116m <sup>2</sup>	14,598千円
3月14日	熊谷市伊勢町地内	倉庫	床36m <sup>2</sup>	16,938千円
4月2日	熊谷市押切地内	専用住宅	床103m <sup>2</sup>	10,919千円

## 死者を伴った火災

月 日	入電時間	地 区	火災種別	死者数(死者・30日死者)
11月26日	3時23分	熊谷市上江袋地内	建物火災	1名 (死者)

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

---

# 救 急 ・ 救 助

---



災害現場を想定した救助訓練

# 事故種別出動状況

月別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年 合計	増減数
出動件数		829	811	746	646	653	648	697	863	784	755	665	804	8,901	9,581	△ 680
救急事故種別件数	火災	4	6	5	3	3	3	1	2	1	1	6	2	37	53	△ 16
	自然															
	水難					1	2		2	1	2			8	12	△ 4
	交通	74	62	50	38	44	59	64	43	78	68	49	69	698	789	△ 91
	労災	6	15	6	6	8	9	6	17	11	10	7	9	110	119	△ 9
	運動	9	3	3				7	11	14	8	10	5	70	115	△ 45
	一般	96	129	89	101	104	95	91	111	111	123	109	116	1,275	1,278	△ 3
	加害	1	3	5	2	4	5	4	2	2	2	3	4	37	43	△ 6
	自損	9	8	5	7	11	6	9	11	8	7	6	6	93	89	4
	急病	547	499	505	418	407	395	449	584	498	451	424	506	5,683	6,017	△ 334
	その他	83	86	78	71	71	74	66	80	60	83	51	87	890	1,066	△ 176
傷病者 搬送件数		717	693	631	561	546	570	610	741	684	649	574	694	7,670	8,119	△ 449
不搬送件数		112	118	115	85	107	78	87	122	100	106	91	110	1,231	1,462	△ 231
医師器材 搬送件数																
搬送人員	男	370	390	331	294	283	287	336	369	374	334	302	372	4,042	4,352	△ 310
	女	352	313	305	273	264	285	280	378	323	323	272	323	3,691	3,828	△ 137
	計	722	703	636	567	547	572	616	747	697	657	574	695	7,733	8,180	△ 447

事 故 種 別 署 別 出 動 状 況

署別 種別		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	合計
出動件数		1,692	1,549	830	3,100	756	974	8,901
救急事故種別件数	火災	2	8	5	11	4	7	37
	自然							
	水難	1	1		1	1	4	8
	交通	127	127	68	257	58	61	698
	労災	26	17	20	21	12	14	110
	運動	16	8	6	29	5	6	70
	一般	241	200	114	475	107	138	1,275
	加害	11	6	4	12	1	3	37
	自損	23	11	14	31	7	7	93
	急病	1,127	1,075	511	1,789	486	695	5,683
	その他	118	96	88	474	75	39	890
傷病者搬送件数		1,528	1,330	696	2,603	656	857	7,670
不搬送件数		164	219	134	497	100	117	1,231
医師器材搬送件数								
搬送人員	男	815	722	365	1,357	323	460	4,042
	女	724	614	335	1,272	340	406	3,691
	計	1,539	1,336	700	2,629	663	866	7,733

事 故 種 別 時 刻 別 搬 送 人 員

時刻別 事故種別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
火 災		1		1			1	3	2				8
自 然													
水 難				1									1
交 通	15	7	17	63	93	77	89	79	79	84	37	16	656
労 災	3	1		1	17	29	19	15	11	4	4	2	106
運 動					6	20	18	12	7	5	1		69
一 般	44	29	26	84	155	146	148	125	131	124	83	50	1,145
加 害	1	2	1	1	2		3	3	2	1	7	1	24
自 損	3	6	2	3	5	8	5	3	5	10	7	1	58
急 病	250	214	212	394	626	533	539	533	482	510	431	314	5,038
そ の 他	12	4	4	6	65	145	146	95	88	24	23	16	628
合 計	328	264	262	554	969	958	968	868	807	762	593	400	7,733



事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度別 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災		2	3	3		8
自 然						
水 難			1			1
交 通	4	29	89	534		656
労 災		12	28	66		106
運 動		3	11	55		69
一 般	8	98	343	696		1,145
加 害			1	23		24
自 損	5	9	21	23		58
急 病	146	507	2,154	2,231		5,038
その他		171	397	60		628
合 計	163	831	3,048	3,691		7,733

救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況

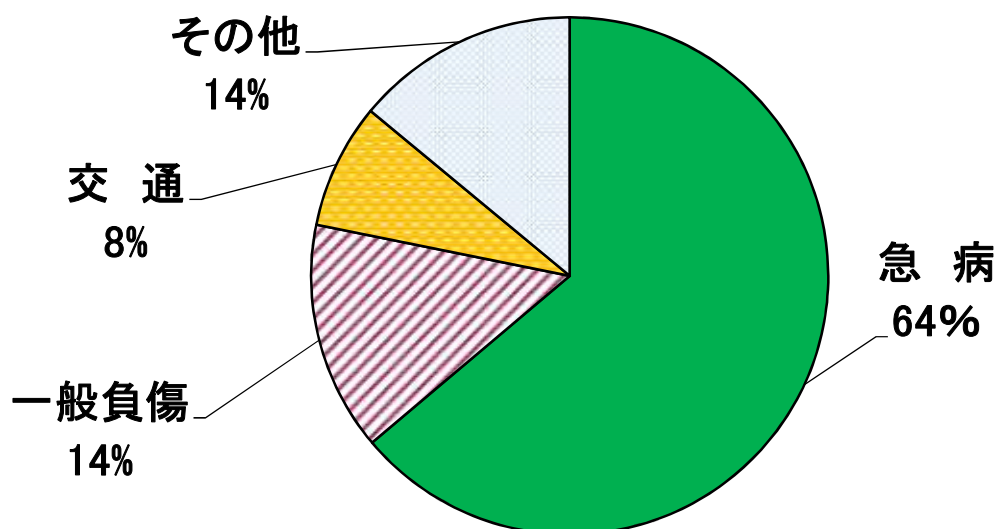
区 分 種 別		救急告示医療 機関	その他の医療 機関	合 計	前年合計	増減数
男 女 別	男	3,680	362	4,042	4,352	△ 310
	女	3,445	246	3,691	3,828	△ 137
	計	7,125	608	7,733	8,180	△ 447
事 故 種 別	急 病	4,614	424	5,038	5,310	△ 272
	交 通	652	4	656	710	△ 54
	一般負傷	1,125	20	1,145	1,132	13
	そ の 他	734	160	894	1,028	△ 134
	計	7,125	608	7,733	8,180	△ 447
傷 病 程 度 別	死 亡	157	6	163	160	3
	重 症	677	154	831	865	△ 34
	中 等 症	2,724	324	3,048	3,167	△ 119
	軽 症	3,567	124	3,691	3,988	△ 297
	そ の 他					
	計	7,125	608	7,733	8,180	△ 447

救 急 告 示 医 療 機 関 （ 熊 谷 市 ）		
名 称	認 定 日	告 示
熊谷外科病院	R3.2.28	R3. 3. 2 告示第204号
埼玉慈恵病院	R1.12.17	R1.12.17告示第787号
熊谷総合病院	H31.3.11	H31. 3. 15 告示第214号
関東脳神経外科病院	R1.12.17	R1.12.17告示第787号
熊谷生協病院	R1.9.3	R1. 9. 20 告示第463号

傷 病 程 度 （救急事故等報告要領に基づく）	
死 亡	初診時において、死亡が確認されたもの
重 症	3週間以上の入院加療を必要とするもの
中 等 症	重症又は軽症以外のもの
軽 症	入院加療を必要としないもの
そ の 他	医師の診断がないもの又は搬送先が医療機関ではない場所へ搬送されたもの

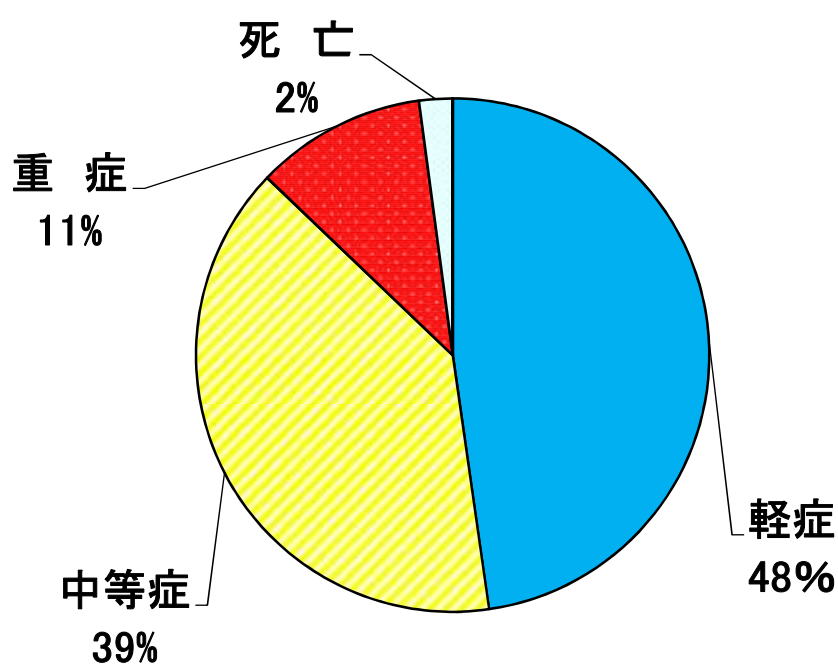
### 事故種別出動件数

	急 病	一般負傷	交 通	その他	合 計
出動件数	5,683	1,275	698	1,245	8,901

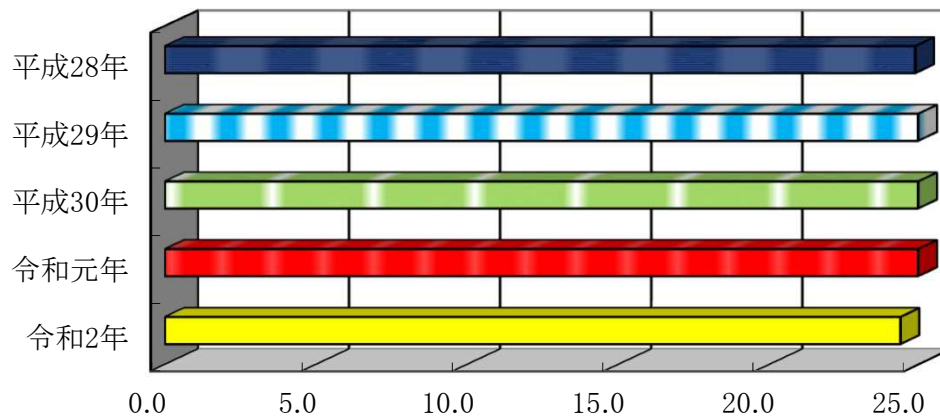


### 程度別搬送人員

	軽 症	中等症	重 症	死 亡	その他	合 計
搬送人員	3,691	3,048	831	163	0	7,733

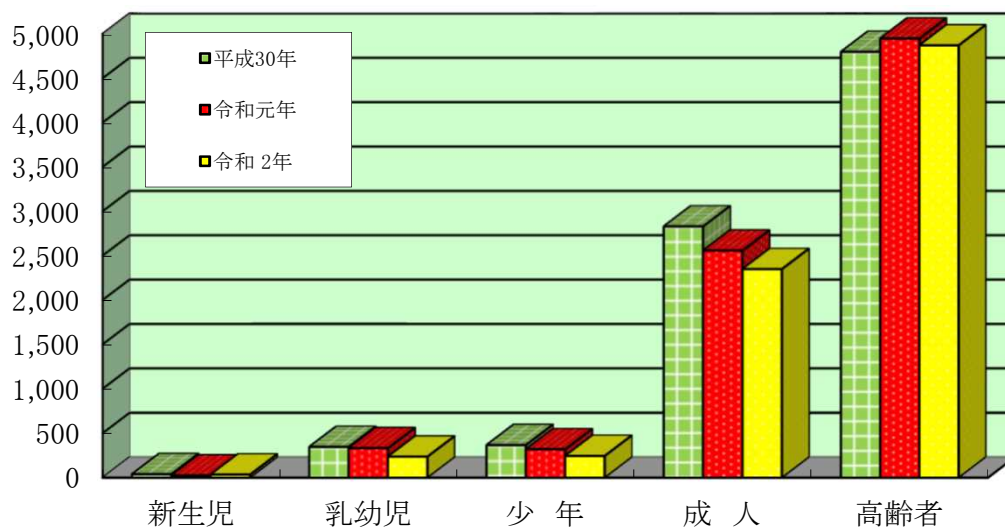


一日平均救急出動件数の年別比較



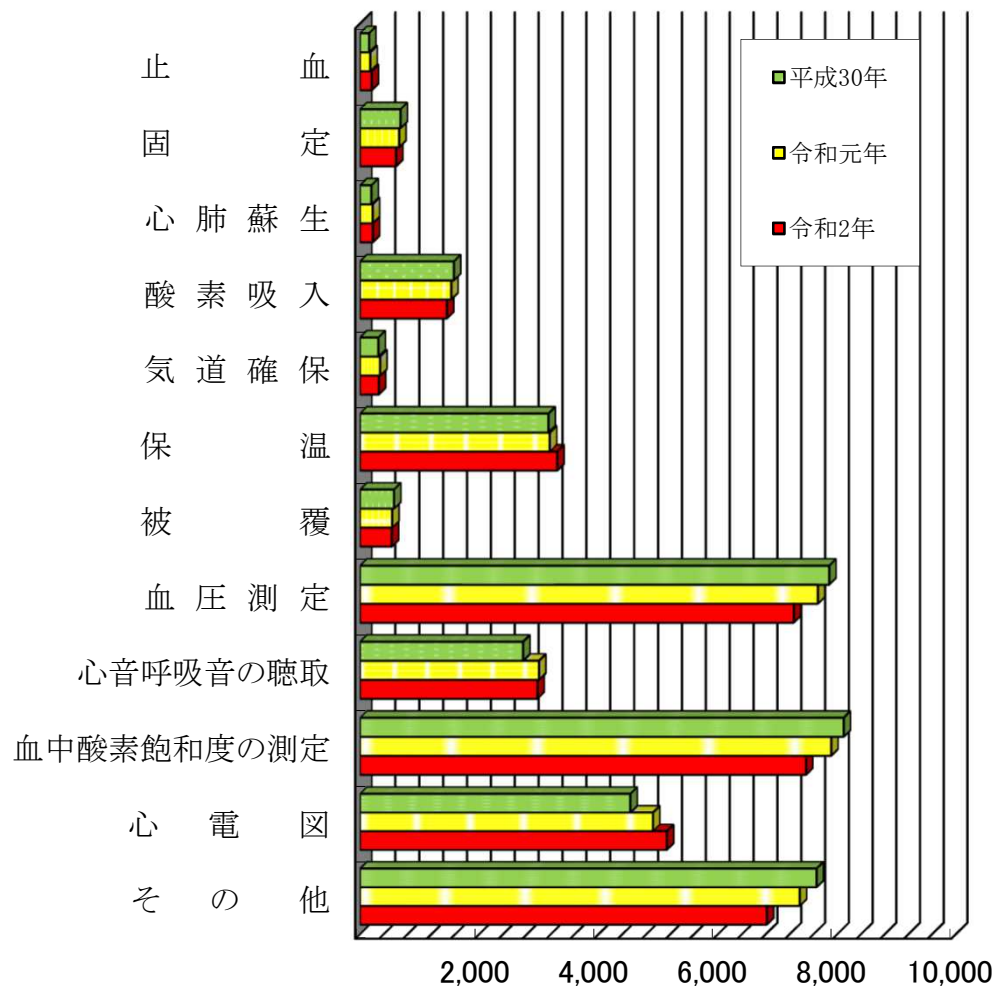
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出動件数	24.9	25.5	26.6	26.2	24.4

年齢別搬送人員



年齢別 年 別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
	生後29日未 満	生後29日 以上満7歳 未 満	満7歳以上 満18歳未 満	満18歳以上 満65歳未 満	満65歳以上	
平成30年	39	346	366	2,829	4,798	8,378
令和元年	24	332	319	2,557	4,948	8,180
令和2年	35	236	244	2,348	4,870	7,733

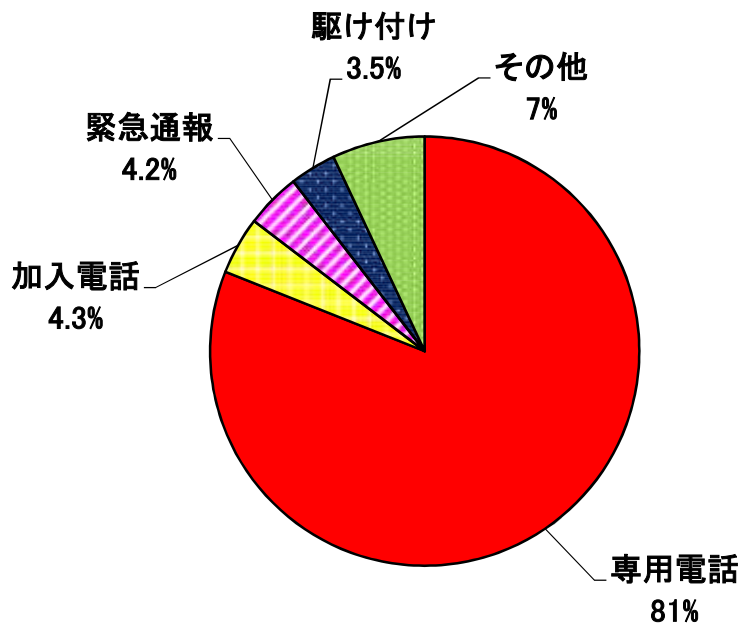
# 救急隊員の行った応急処置件数



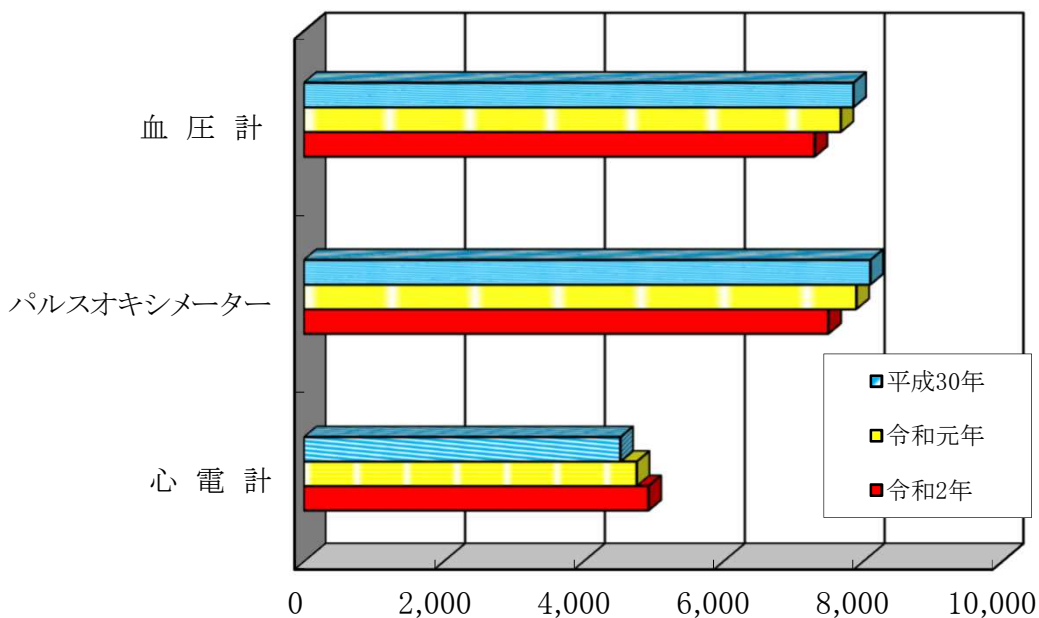
	平成30年	令和元年	令和2年
止血	151	172	194
固定	678	655	603
心肺蘇生	191	213	214
酸素吸入	1,571	1,526	1,454
気道確保	308	336	314
保温	3,155	3,178	3,302
被覆	569	538	531
血圧測定	7,860	7,669	7,265
心音呼吸音の聴取	2,731	2,998	2,971
血中酸素飽和度の測定	8,103	7,893	7,469
心電図	4,527	4,906	5,139
その他	7,645	7,365	6,814

## 救急事故覚知別状況

覚知別	専用電話	加入電話	緊急通報	駆け付け	その他	合 計
件 数	487	26	25	21	42	601



## 医療資器材の使用件数



	血 圧 計	パルスオキシメーター	心 電 計
平成30年	7,860	8,103	4,527
令和元年	7,679	7,902	4,761
令和2年	7,307	7,502	4,929

# 救 助 出 動 状 況

	令和2年			令和元年			出動件数 増 減
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
総 数	180	102	64	215	123	67	△35
火 災	27	27	4	32	32	1	△5
交通事故	41	20	26	35	18	22	6
水難事故	6	4	3	2	2	3	4
風水害等 自然災害							
機械による事故	6	1	1	6	2	2	
建物等による事故	39	31	23	49	41	29	△10
ガス及び 酸欠事故	1	1		1	1		
爆発事故							
その他の 事故	60	18	7	90	27	10	△30

※ 出動件数とは、救助隊が救助を目的として出動した件数をいう。  
活動件数とは、救助隊が要救助者を救出するために活動した件数をいう。  
救助人員とは、救助隊により救出された人員をいう。

月別救助出動件数

区分 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	出 動	3	6	4	2	2	2	2	2	1		3		27
	活 動	3	6	4	2	2	2	2	2	1		3		27
	救助人員				1		2					1		4
交通	出 動	7	1	5	3	1	3	5	2	7	3	3	1	41
	活 動	6		1			2	4	1	4	1	1		20
	救助人員	12		1			2	4	1	4	1	1		26
水難	出 動			1		1	1		1		2			6
	活 動					1	1		1		1			4
	救助人員						1		1		1			3
自然災害	出 動													
	活 動													
	救助人員													
機械	出 動		2	1	1	1					1			6
	活 動										1			1
	救助人員										1			1
建物	出 動	6	4	1	6	1	1	2	7	3	1	4	3	39
	活 動	5	3	1	6	1	1	1	5	2		4	2	31
	救助人員	3	2	1	5	1		1	4	2		3	1	23
ガス	出 動					1								1
	活 動					1								1
	救助人員													
爆発	出 動													
	活 動													
	救助人員													
その他	出 動	4	4	7	6	4	5	3	6	3	5	3	10	60
	活 動	1	2	2	2	1	3			2	1	1	3	18
	救助人員		2				1				1	1	2	7
合計	出 動	20	17	19	18	11	12	12	18	14	12	13	14	180
	活 動	15	11	8	10	6	9	7	9	9	4	9	5	102
	救助人員	15	4	2	6	1	6	5	6	6	4	6	3	64



# 事故種別発生場所別活動件数

事故種別 発生場所別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	9						30	1		11	51
	その他の屋内	10						1				11
屋 外	道 路	高速自動車・国道										
		その他の道路		1	19							20
	水 面	内 水 面			4							4
		外 水 面										
	山 岳											
	その他の屋外		4	3	1		1				7	16
地 下												
そ の 他												
合 計		23	4	20	4		1	31	1		18	102

※ 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

# 事故種別出動車両等台数

事故種別 車 両 別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物 以外									
出 動 車 両	救 助 工 作 車	23	4	41	8		6	39	1		60	182
	消防ポンプ自動車	98	10	37	12		5	17			92	271
	は し ご 車	4									2	6
	化 学 車	3		1			1				2	7
	指 揮 車	26	4	6	7		1				21	65
	救急自動車	24	4	59	8		6	39	1		59	200
	そ の 他	1	1		11						3	16
	消 防 団 車 両	102	1								6	109
合 計		281	24	144	46		19	95	2		245	856

※ 事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両の台数について記載。

「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

---

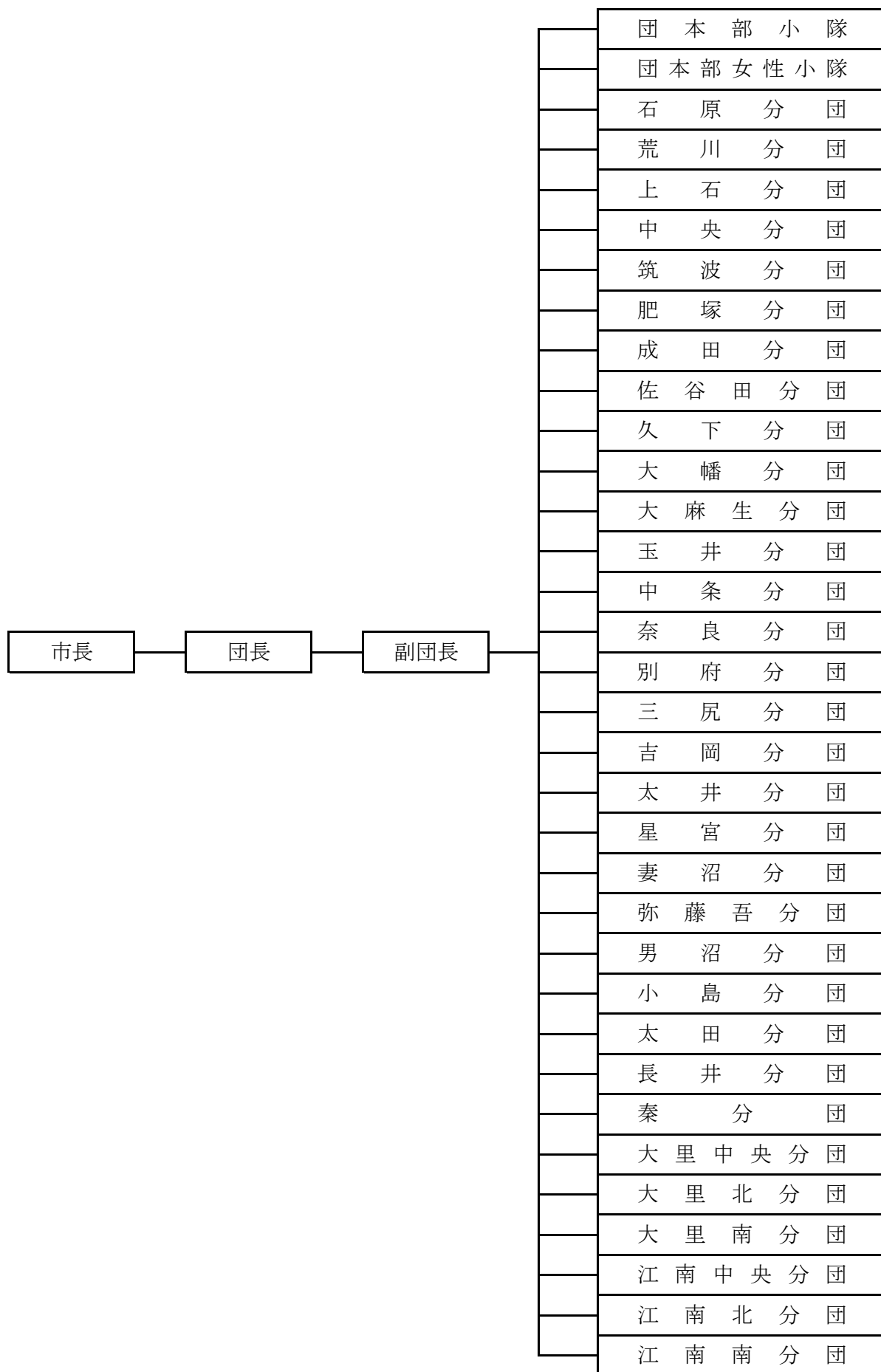
# 消 防 団

---



令和2年10月に更新した上石・妻沼・太田分団車

# 消 防 団 組 織 表



# 消 防 団 車 庫 一 覧 表

令和 3 年 4 月 1 日現在

分 団 名	所 在 地	構 造 等	延面積(㎡)	建築年月
団 本 部 小 隊	宮町一丁目121番地	車庫 鉄骨造平家建 待機室 木造平家建	18.00 26.50	S53.10 H2.3
石 原 分 団	本石二丁目53番地	鉄骨造二階建	142.71	S48.12
荒 川 分 団	宮前町一丁目106番地	鉄筋コンクリート造平屋建	88.29	H30.2
上 石 分 団	石原932番地	鉄筋コンクリート造二階建	75.19	S53.7
中 央 分 団	宮町一丁目121番地	鉄筋コンクリート造二階建	47.02	S42.3
筑 波 分 団	筑波一丁目69番地1	鉄筋コンクリート造二階建	244.49	S54.10
肥 塚 分 団	肥塚一丁目2番15号	鉄筋コンクリート造平家建	74.39	S60.3
成 田 分 団	上之806番地10	鉄筋コンクリート造平家建	87.99	S50.3
佐 谷 田 分 団	佐谷田371番地17	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
久 下 分 団	久下1430番地	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S49.3
大 幡 分 団	代585番地1	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S48.3
大 麻 生 分 団	大麻生1108番地6	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S42.2
玉 井 分 団	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	玉井分署内	H3.3
中 条 分 団	上中条814番地2	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
奈 良 分 団	下奈良561番地15	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S57.3
別 府 分 団	西別府2047番地	鉄筋コンクリート造平家建	73.27	S52.3
三 尻 分 団	三ヶ尻2750番地2	鉄筋コンクリート造平家建	72.33	S54.8
吉 岡 分 団	万吉2164番地	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	H4.2
太 井 分 団	太井1949番地1	鉄筋コンクリート造平家建	179.43	S55.3
星 宮 分 団	下川上17番地2	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S45.3

分 団 名	所 在 地	構 造 等	延面積(㎡)	建築年月
妻 沼 分 団	妻沼1547番地3	鉄骨造平家建	87.19	H10.2
弥 藤 吾 分 団	弥藤吾1800番地3	鉄骨造平家建	72.90	H3.3
男 沼 分 団	男沼118番地1	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
小 島 分 団	妻沼小島2357番地1	鉄筋コンクリート造平家建	58.32	S62.3
太 田 分 団	飯塚1395番地15	鉄骨造平家建	72.90	H1.3
長 井 分 団	江波363番地	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
秦 分 団	葛和田1135番地3	鉄骨造平家建	72.90	H2.11
大里中央分団	中曽根643番地1	木造平家建	23.10	S63.3
大里北分団	中曽根232番地1	鉄骨造平家建	56.70	H9.3
大里南分団	相上1654番地7	鉄骨造平家建	56.70	H5.3
江南中央分団	江南中央一丁目1番地	鉄骨造平家建	61.20	H19.2
江南北分団	成沢465番地1	鉄骨造平家建	46.45	S61.3
江南南分団	小江川1931番地1	鉄骨造平家建	54.78	H2.3

# 消防ポンプ自動車等性能一覧表

令和3年4月1日現在

分 団 別	車 種	車名・型式	機装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
団本部 小隊	多機能車	イスズ BKG-NHS85A	(株)モリタ	H21	12	2,990	—	無線傍受機、小型動力ポンプ
団本部 女性小隊	広報車	三菱 DBA-CV5W	東日本三菱 自動車販売(株)	R1	2	2,350	—	無線傍受機
石原分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ PB-NKR81N	(株)ネイチャー	H18	15	4,770	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
荒川分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)ネイチャー	R1	2	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
上石分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)モリタ	R2	1	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H25	8	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
筑波分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	12	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
肥塚分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H20	13	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
成田分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H19	14	2,990	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
佐谷田分団	普通消防 ポンプ自動車	イスズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H19	14	2,990	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
久下分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H24	9	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
大幡分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H22	11	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
大麻生分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	10	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
玉井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	10	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
中条分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	10	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
奈良分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	18	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
別府分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	18	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機

分 団 別	車 種	車名・型式	機装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
三尻分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	19	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
吉岡分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H16	17	4,770	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
太井分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H22	11	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
星宮分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H22	11	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
妻沼分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)モリタ	R2	1	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
弥藤吾分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H19	14	2,990	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
男沼分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	19	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
小島分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H19	14	2,990	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
太田分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)モリタ	R2	1	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
長井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)ネイチャー	R1	2	4000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
秦分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	19	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
大里中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	12	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
大里北分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	18	5,240	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
大里南分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	12	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
江南中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H25	8	4,000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
江南北分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ 2RG- XZU640M	(株)ネイチャー	R1	2	4000	A-2級	CD-I 型、無線傍受機
江南南分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	16	4,770	A-2級	CD-I 型、無線傍受機

## 勤 続 年 数 状 況

令和3年4月1日現在

階級別 勤続年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
1 年 未 満						20	20
1 年 以 上 ～ 3 年 未 満						55	55
3 年 以 上 ～ 5 年 未 満					1	44	45
5 年 以 上 ～ 10 年 未 満			1	2	12	94	109
10 年 以 上 ～ 15 年 未 満			3	4	21	54	82
15 年 以 上 ～ 20 年 未 満		1	5	11	23	21	61
20 年 以 上 ～ 25 年 未 満			8	8	14	18	48
25 年 以 上 ～ 30 年 未 満	1	1	9	6	5	6	28
3 0 年 以 上		4	8	3	4	5	24
人 員 計	1	6	34	34	80	317	472
平 均 勤 続 年 数	28	31	25	20	16	8	12

## 年 齢 状 況

令和3年4月1日現在

階級別 年齢別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
2 0 歳 未 満						1	1
20 歳 以 上 ～ 25 歳 以 下						15	15
26 歳 以 上 ～ 30 歳 以 下					1	13	14
31 歳 以 上 ～ 35 歳 以 下					1	24	25
36 歳 以 上 ～ 40 歳 以 下			1	2	9	51	63
41 歳 以 上 ～ 45 歳 以 下			4	2	11	68	85
46 歳 以 上 ～ 50 歳 以 下			4	14	28	67	113
51 歳 以 上 ～ 55 歳 以 下		1	5	8	13	46	73
5 6 歳 以 上	1	5	20	8	17	32	83
人 員 計	1	6	34	34	80	317	472
平 均 年 齢	64	61	56	52	49	44	47



消 防 年 報

発 行 令和3年6月刊行

編 集 熊谷市消防本部

〒360-0811

埼玉県熊谷市原島675番地1

電 話 (048) 501-0119

FAX (048) 521-1207

U R L <https://www.city.kumagaya.lg.jp/>